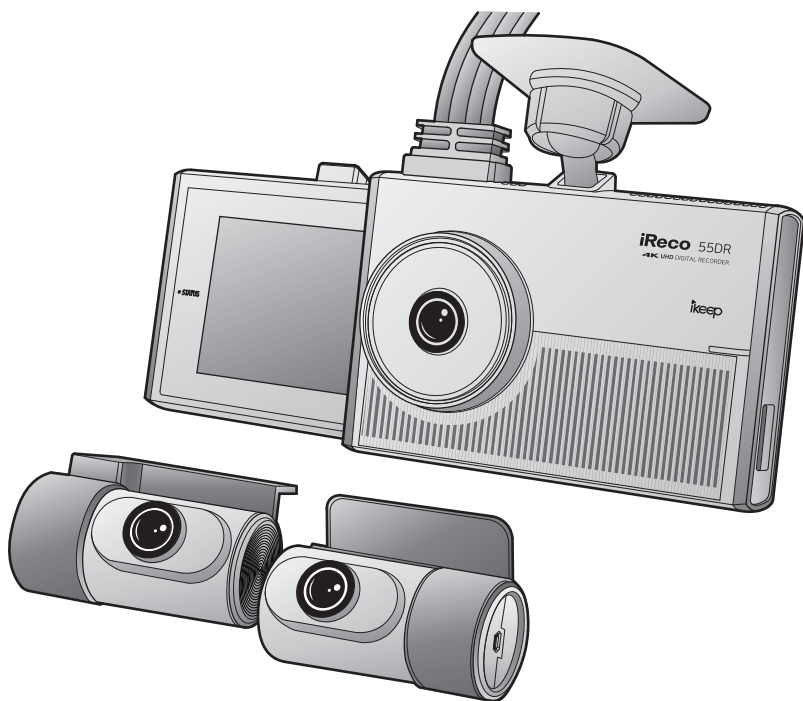


ドライブレコーダー

ikeep

3カメラドライブレコーダー

iReco 55DR



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書には、製品の取付方法および操作手順について記載しています。正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。また、お読みになった後は、必要なときにすぐ確認できる場所に保管してください。

なお、本書の巻末には保証書が添付されています。所定の事項をご記入のうえ、大切に保管してください。

目次

確認とご注意	安全上のご注意 -----	4~12
	確認とご注意 -----	13
	使用上のご注意 -----	14~19

はじめに	梱包内容 -----	20
	フロントカメラ筐体の各部名称 -----	21
	リヤカメラ 各部名称 / 車内カメラ 各部名称 -----	22
	別売品 -----	23
	仕様 -----	24~25
	microSDカードの取り外し/装着 -----	26

本機の取り付け	ケーブル接続構成について -----	27
	電源ケーブルを接続する -----	28~29
	配線処理に関する注意 -----	30
	フロントカメラを取付ける -----	31~33
	車内カメラを取付ける -----	34~35
	ケーブル配線処理方法 -----	36~38
	リヤカメラを取付ける -----	39
	動作を確認する -----	40~42

映像を見る	ライブビュー -----	43
	本体で映像を再生する -----	44~45
	パソコンで映像を再生する -----	46~48
	専用ビューワソフトについて -----	49~54
	地図表示について -----	55
	録画映像の保存場所について -----	56

目次

駐車監視モード について	駐車監視モード -----	57~58
	駐車監視モードの起動・終了動作 -----	59~60
	省電力クイック衝撃検知モード -----	61
	タイムラプス+衝撃検知モード -----	62
	動体検知+衝撃検知モード -----	63
	レーダー動体検知+衝撃検知モード -----	64
	レーダーモードの再検知時の動作詳細 -----	65~66
	レーダーセンサーについて -----	67
	レーダーセンサーによる検知範囲のイメージ図 ----	68

安全運転支援機能 (ADAS)について	安全運転支援機能(ADAS)について -----	69
	先行車発進警報 -----	70
	車線逸脱警報 -----	71
	前方衝突警報 -----	72

設定	1. 設定メニューへの入り方 -----	73
	2. カメラ設定 -----	74~75
	3. 時間設定 -----	76
	4. サウンド設定 -----	77
	5. 運転支援機能(ADAS)設定 -----	78
	6. 駐車監視設定 -----	79~86
	7. システム設定 -----	87~94

付録	セキュリティLED・状態表示インジゲーター -----	95
	メッセージ確認表 -----	96~98
	音声案内確認表 -----	99~100
	ファームウェアを更新する -----	101~102
	保証書 -----	103~104

ご使用の前に、必ず本書の「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに記載されている注意事項は、製品を安全にお使いいただくとともに、使用される方や周囲の方への危害や財産への損害を未然に防止することを目的としています。安全に関わる重要な内容ですので、必ずお守りください。

なお、危害や損害の程度を明確にするため、誤った取り扱いを行った場合に想定される内容を、次の表示区分に分けて説明しています。

表示について

	必ず実行していただく【重要】な内容です。
	行ってはいけない【禁止】事項です。
	使用時にご注意いただきたい【注意喚起】の内容です。
	関連する説明が記載されているページを示しています。

安全にご使用いただくためのお願い

警告 ⚠

- ✔ 異常・故障・破損が発生した場合は、ただちに使用を中止してください。そのまま使用を続けると、火災、発煙、発火、感電などの原因となるおそれがあります。

【異常状態の例】

- ・内部に異物が入った場合
- ・水に浸かった場合
- ・煙が出ている場合
- ・異臭がする場合

異常を感じた場合は、すぐに使用を中止し、電源コードを外したうえで、お買い上げの販売店またはiKeepサポートセンターまでお問い合わせください。

- ✔ 心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器をご使用の方は、本機の使用による影響について、事前に医療機器メーカーまたは担当医師にご確認ください。
- 持病をお持ちの方、または妊娠中・妊娠の可能性のある方は、本機をご使用になる前に、必ず医師にご相談ください。
- ✔ 機器本体および付属品を分解したり、修理したりしないでください。
- ⊗ 感電や故障の原因となります。内部点検、調整、修理についてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

- ⑤ 本機を次のような場所に保管しないでください。
 - ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い場所
 - ・湿気やほこり、油煙の多い場所
 - ・ダッシュボード上や、炎天下で窓を閉め切った自動車内
- ⑤ 本機を火の中、電子レンジ、オーブン、高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。
破裂、発火、やけどの原因となります。
- ⑤ 本機を改造しないでください。
故障の原因となるほか、保証の対象外となります。また、改造によって生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ⑤ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。
- ⚠ SDカードおよびその他の付属品を、子供の手の届く場所に保管しないでください。誤って飲み込むおそれがあります。

注意 ⚠

- ❌ 結露した状態のまま使用し続けしないでください。故障や発熱の原因となります。(気温の低い場所から高い場所へ移動した場合、本機内部に結露が生じることがあります。)
- ❌ 本機を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。破損や故障の原因となります。
- ❌ 各端子に異物が入らないよう、取り扱いにご注意ください。故障の原因となります。
- ❌ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- ⚠ 本機は精密機器です。
静電気や電氣的ノイズなどの影響により、保存されているデータが消失することがあります。データが消失すると、本機が正常に動作しない場合があります。

注意 ⚠

- ✅ 本機の取り付けは確実に、定期的に取り付け状態を点検してください。
取り付けが不十分な場合、本体の脱落や落下により、けがや事故、物的損害を招くおそれがあります。
- ✅ 本機をテレビ／ラジオアンテナ付近に設置しないでください。
テレビやラジオの受信感度の低下、映像のちらつき、ノイズが発生する原因となる場合があります。

安全上のご注意

08

警告 ⚠

- ✔ 本機は、運転操作や前方視界の妨げにならない位置、またブレーキやハンドルなどの自動車の機能を妨げない位置に取り付けてください。
- ✔ 誤った取り付けは、交通事故の原因となるおそれがあります。一部の運転支援システム装着車では、取り付け位置によってシステムの制御に影響を及ぼす場合があります。取り付け前に、必ず車両の取扱説明書をご確認ください。
- ✔ エアバッグの作動範囲内やその周辺には、本機を取り付けたり、配線を行ったりしないでください。万一エアバッグが作動した際、本機が飛ばされて事故やけがの原因となるほか、配線が妨げとなり、エアバッグが正常に作動しないおそれがあります。

安全上お守りいただきたいこと

警告 ⚠

- ⚠ 安全運転サポート機能は、運転者の判断を補助し、運転時の負担を軽減することを目的とした機能です。事故を未然に防ぐことを保証するものではありません。
- ⚠ 安全運転サポート機能を過信しないでください。本機は、すべての走行状況を判断して通知することはできません。また、運転者の前方不注意や視界不良の状態での運転操作を補助するものではありません。
- ⚠ 運転中は、前方および後方車両との距離、周囲の状況、道路や天候などの運転環境に十分注意し、常に安全運転を心がけてください。
- ⚠ 本機は取り付け位置に条件があります。必ずフロントガラス上部の中央に取り付けてください。

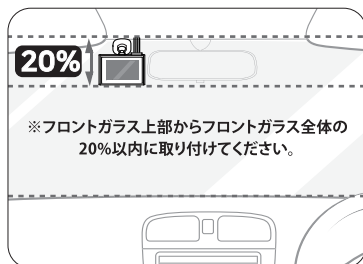
取り付けについて

警告 ⚠

- ✔ フロントカメラ筐体は、フロントガラス上部の20%以内の範囲に取り付けてください。

保安基準の改定によりフロントガラスの下の縁から15cm以内の取り付けが可能になりました。

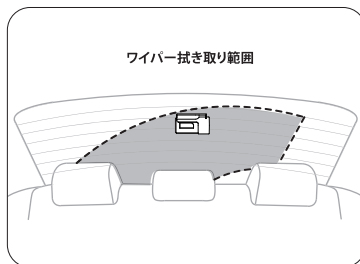
が、下部は上部に比べ本機が高温になりやすい傾向があります。そのため当社は上部20%への取り付けをお勧めします。



- ✔ リヤカメラ、車内カメラは、付属の両面テープで取り付ける前に、フロントカメラで映像の確認をしてください。
誤った向きで取り付けると、映像が上下反転する場合があります。

- ✔ リヤワイパーが装着された車両では、リヤワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けた場合、降雨時などに映像を鮮明に記録できないことがあります。



安全上のご注意

10

ADAS

(先行車発進警報、車線逸脱警報、前方衝突警報)

注意 ⚠

⚠ 先行車発進警報、車線逸脱警報、前方衝突警報を使用する場合は事前に設定を変更してください。

⚠ 取り付け位置や車種によっては、検知しない場合や頻繁に検知する場合があります。必要に応じて設定を調整してください。

microSDカードについて

注意 ⚠

⚠ microSDカードの挿入および取り外しは、本機の電源をOFFにし、電源ランプが消灯してから30秒以上経過したことを確認して行ってください。

⚠ microSDカードは一方方向にしか挿入できません。挿入方向をよく確認したうえで、正しく挿入してください。無理に押し込むと、本機が故障するおそれがあります。

⚠ microSDカードは、本製品の初回起動時、またはカードを交換した際に、本機で初期化(フォーマット)を行います。

LCD画面に表示される「確定」ボタンを押してください。

フォーマットが完了すると、本機は再起動し、正常に動作します。

「確定」ボタンを押さない場合、5秒ごとに警告音が鳴ります



安全上のご注意

11

本機の操作・運転について

警告 ⚠

- ✔ 走行中は、運転者による本機の操作や画面の注視をしないでください。これらの行為は、道路交通法第71条に違反し、処罰の対象となります。
本機を操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。走行中の操作は、交通事故やけがの原因となります。
- ✔ マニュアル録画を行う場合は、周囲の安全を十分に確認したうえで、速やかに操作してください。
- ⊘ 運転者は、走行中に本機を操作しないでください。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを確実に引いた状態で操作してください。
走行中の操作は、前方不注意による事故の原因となります。
- ⊘ 本機は日本国内仕様です。
海外では使用しないでください。
- ⊘ 急発進や急ブレーキを行わないでください。
安全運転上大変危険なほか、本体の脱落や落下により、けがや事故、物的損害を招くおそれがあります。

本機のお手入れについて

警告 ⚠

- ✔ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などで拭くとキズの原因となります。
- ⊘ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。
本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
- ⊘ 内部に異物が入った場合には使用を中止し、当社サポートセンターまでご連絡下さい。

電源ケーブルについて

警告 ⚠

- ✔ 電源ケーブルは、確実に差し込んでください。
接触不良により、火災の原因となるおそれがあります。
- ✔ お手入れの際は、必ず電源コードを抜いてください。
感電の原因となるおそれがあります。
- ✔ 指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると、異常発熱や発火の原因となります。ヒューズを交換する場合は、必ず同一定格のものを使用してください。
- ⊘ 指定された電源電圧以外では使用しないでください。
火災、感電、故障の原因となります。
また、ヒューズの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ⊘ 電源ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。
故障や感電の原因となるおそれがあります。

使用上のご注意

- ご使用の前に、必ず本書の「安全上のご注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。ここに記載されている注意事項は、製品を正しくお使いいただくとともに、使用される方への危害や財産への損害を未然に防止することを目的としています。安全に関わる重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 本機を取り付けたことによって生じた、車両や車載品の故障、事故などの付随的な損害について、当社は一切の責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造などによって生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本書に記載された使用方法および、その他の遵守事項が守られなかったことにより生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様、外観、アイコン、表示名および表示内容は、実際と異なる場合があるほか、改良のため予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品の取り付けによって生じた、車両の変色や変形（跡が残る場合を含む）について、当社では補償いたしかねます。

録画についてのご注意

- 本機は連続して映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は、事故の証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機の故障、または本機の使用によって生じた損害、ならびに記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますが、これにより生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。
- LED式信号機は、点滅して撮影される場合や、色を正しく識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像や周辺の車両状況などを総合的に判断してください。これにより生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 映像を正常に録画するため、カメラレンズや車両のガラスは常に清潔な状態を保ってください。
- 録画条件により、録画のコマ数（フレームレート）が変動する場合があります。
- 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないよう、必ずSDカードを取り外して保管してください。
- 本機は精密な電子部品で構成されています。以下のような取り扱いを行うと、データが破損するおそれがあります。
 - 静電気や電氣的ノイズが加わった場合。
 - 水に濡らした場合、または強い衝撃を与えた場合
 - 長期間使用しなかった場合
 - パソコン操作時に誤った取り扱いを行った場合

microSDカードに関するご注意

- カードリーダーは、使用するmicroSDカードの容量に対応したものを使用してください。容量に対応していないカードリーダーを使用すると、データの破損などにより、読み込みや書き込みができなくなるおそれがあります。
- microSDカードの取り出しおよび挿入は、必ず本機の電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にmicroSDカードを取り出したり挿入したりすると、カードの破損やデータの消失などの誤動作を引き起こすおそれがあります
- microSDカードには寿命があります。microSDカードは多数のメモリーセクターで構成されており、データの書き換えを繰り返すことで徐々に劣化します。劣化が進むと一部のメモリーセクターが破損し、正常に録画できなくなる場合があります。そのため、定期的に新しいmicroSDカードへの交換をおすすめします。（製品寿命はカードメーカーや使用状況により異なります）
- microSDカードの消耗に起因する故障または損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンへの保存やUSBメモリーなど、別の記録媒体へバックアップすることをおすすめします。
- 本機の使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切の責任を負いません。
- microSDカード内には、本機以外のデータを保存しないでください。動作が不安定になるおそれがあります。

※ **microSDおよびmicroSDXCは、SD-3C, LLCの商標または登録商標です**

使用上のご注意

17

取り付けに関するご注意

- 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりでなく、交通事故やけがの原因となります。
- 本機の近くに、GPS機能を搭載した製品やVICS受信機を設置しないでください。
誤動作を起こすおそれがあります。
- 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込むおそれがあります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビの受信感度低下、映像のちらつき、ノイズが発生するおそれがあります。
- ラジオアンテナ付近に配線を行うと、ラジオの受信感度が低下する場合があります。
- 本書に記載されている付属品および別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作については、保証いたしかねます。

撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがありますが、これは広角レンズの特性によるものであり、異常ではありません。
- 電源OFF時やアイドリングストップ作動時などに、ノイズやちらつきのある映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

18

タッチパネルディスプレイに関するご注意

- 表示部を強く押したり、爪やボールペンなど先の尖ったもので操作しないでください。表示部の故障や破損、けがの原因となります。
- 表示部を金属などで擦ったり、引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損、けがの原因となります。
- 周囲の温度が極端に高温になると、表示部が黒くなる場合がありますが、これはタッチパネルディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内に戻ると、元の状態に戻ります。
- タッチパネルディスプレイは非常に高精度な技術で製造されており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%程度の画素欠けや常時消灯する画素が存在する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本体温度が高温になると、液晶パネル保護のためディスプレイ表示が自動的にOFFになります（録画は継続されます）。温度が動作温度範囲まで下がると、自動的に画面表示がONになります。

電源ケーブルに関するご注意

- 電源ケーブルは、必ず付属品を使用してください。
- 電源ケーブル内部のヒューズが切れた場合は、市販の新しいヒューズに交換してください。交換後、再度ヒューズが切れる場合は、ただちに使用を中止し、当社サポートセンターにご連絡ください。
- ヒューズを交換する際は、部品を紛失しないようご注意ください。

使用上のご注意

19

GPS測位に関するご注意

- 本機を初めて使用する場合、GPS測位が完了するまでに20分以上かかることがあります。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングされた断熱ガラスなど）を使用している車両や、フロントガラスにメタリックフィルムなどを施工している場合、GPS測位ができないことがあります。
- 走行速度、走行角度、走行距離などの表示は、GPS電波をもとに計測しています。そのため、測位状況によっては実際の値と異なる場合があります。
- GPSによって表示される速度は、数秒間の平均値です。そのため、車両の減速後、加速後には速度表示の誤差が大きくなるタイミングがあります。
- GPS衛星は米国防総省により管理されており、意図的に測位精度が変更される場合があります。

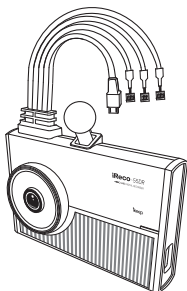
駐車監視モードについてのご注意

- 車両や車検などで車両を第三者に預ける場合は、車両停止（ACC OFF）後、設定によっては駐車監視が作動することを、あらかじめお伝えください。
- 機は車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。購入から1年以上経過していないバッテリー、または1年以上同じバッテリーを使用している場合でも、使用状況によってはバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、当社は一切の責任を負いません。
- タイマー設定の有無にかかわらず、使用状況（接続状態や設置環境など）により、電源を供給できる時間は変動します。

梱包内容

ご使用の前に、以下の梱包内容がすべて揃っていることをご確認ください。

万一、不足しているものがある場合や、取扱説明書にページの抜けや順番の誤りがある場合は、当社サポートセンターまでご連絡ください。



フロントカメラ筐体



リアカメラ

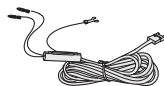
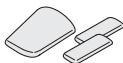


車内カメラ

付属品



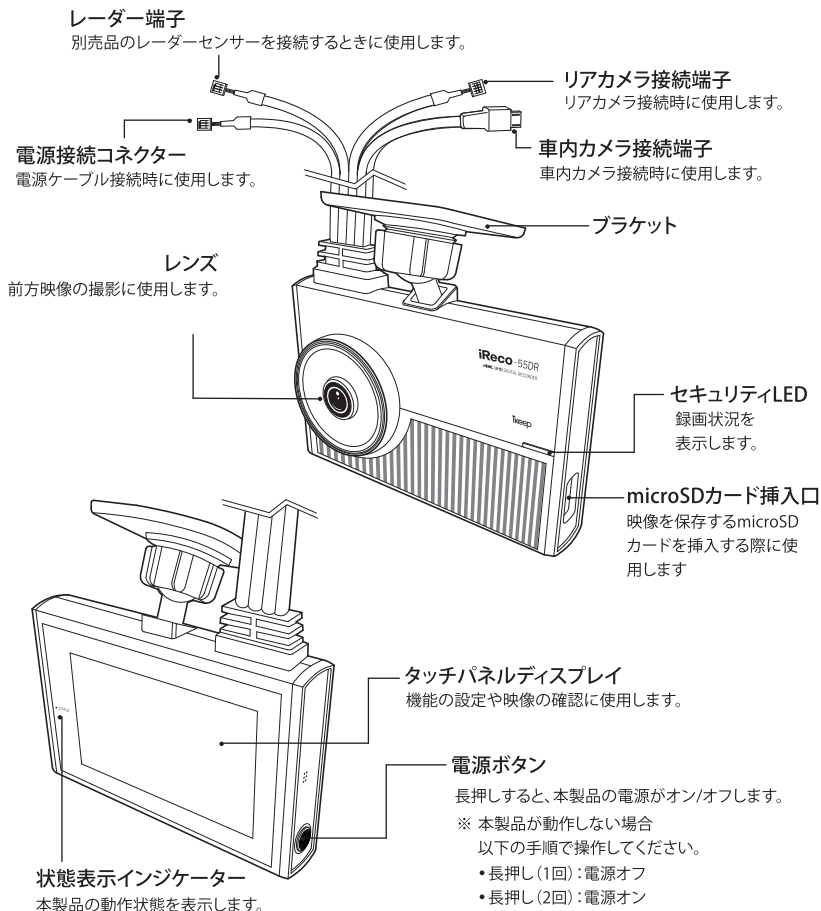
ブラケット

リアカメラケーブル
(約 9m)電源ケーブル
(約 3.5m)フロント・リア・車内
カメラ両面テープ (3枚)

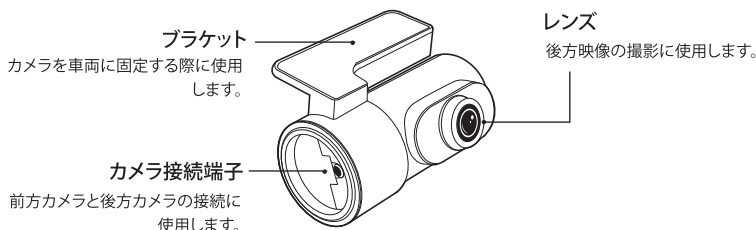
静電吸着保護フィルム

取扱説明書
(本書/1冊)

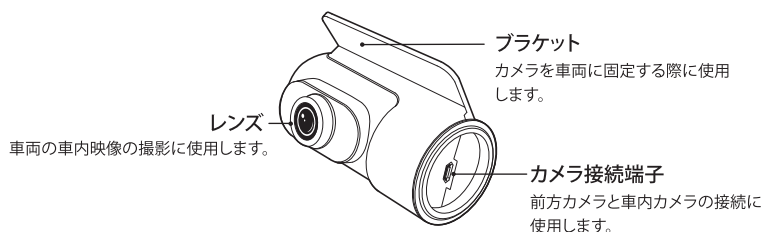
フロントカメラ筐体の各部名称



リアカメラ 各部名称



車内カメラ 各部名称



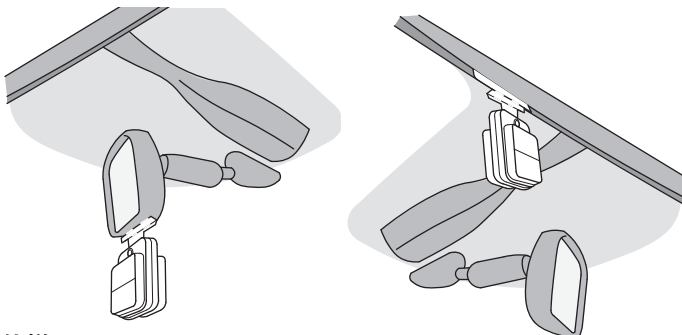
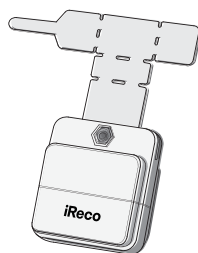
注意 ⚠

- ・本製品の動作中は、本体表面が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- ・動作中は、通気孔付近、電源接続コネクタ、カメラ接続端子、レンズ、microSDカードスロット周辺およびmicroSDカードが特に高温になる場合があります。触れる際は十分ご注意ください。
- ・通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となるおそれがあります。

別売品

レーダー (iReco Radar)

レーダーセンサーにより車両周辺を監視し、車両や人の動きを検知します。従来の動体検知モードと比べて、より持続性の高い駐車監視を実現します。当て逃げやいたずらの恐れがある場合のみ起動・記録を行うため、バッテリーへの負荷低減にも貢献します。



仕様

電源電圧	DC5V (接続機器から給電)	
消費電力	最大0.25W/平均0.1W	
レーダーセンサー	適合技術基準	TELEC
	センサータイプ	FMCW
	発振周波数帯	24Ghz
	の探知範囲	前方・後方とも水平120度×垂直30°
使用温度範囲	-20度 / 60度	
外形寸法	39(幅)×43(高さ)×20(奥行) mm(突起部除く)	
本体重量	21g	

仕様

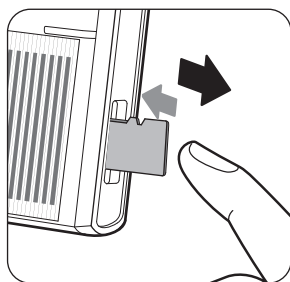
外形寸法 (突起部除く)	【前方カメラ】103 (幅) × 70 (高さ) × 19 (奥行) mm 【リアカメラ】68 (幅) × 28 (直径) mm 【車内カメラ】68 (幅) × 28 (直径) mm						
本体重量	【前方カメラ】約 170g (microSD カード含む) 【リアカメラ】約 30g 【車内カメラ】約 30g						
記録媒体	microSD カード 16GB~512GB (UHS Speed class:U3以上、Video Speed class:V30以上) 推奨カード:SAMSUNG PRO Plus, SanDisk Extreme PRO						
撮像素子	【前方カメラ】800 万画素カラー CMOS (STARVIS2 技術搭載) 【リアカメラ】200 万画素カラー CMOS (STARVIS2 技術搭載) 【車内カメラ】200 万画素カラー CMOS (STARVIS2 技術搭載)						
最大記録画角	【前方カメラ】対角 190° (水平 190°、垂直 100°) 【リアカメラ】対角 144° (水平 125°、垂直 65°) 【車内カメラ】対角 200° (水平 194°、垂直 101°)						
記録解像度	【前方カメラ】800万画素 2160P (3840x2160) 25.4fps 万画素 27.5fps を選択 【リアカメラ】200万画素 1080P (1920x1080) 25fps 【車内カメラ】200万画素 1080P (1920x1080) 25fps 万画素 15fps を選択 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>フレームレート設定</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期設定</td><td>前方: 25.4fps / 後方: 25fps / 車内: 25fps</td></tr> <tr> <td>オプション</td><td>前方: 27.5fps / 後方: 25fps / 車内: 15fps</td></tr> </tbody> </table>	項目	フレームレート設定	初期設定	前方: 25.4fps / 後方: 25fps / 車内: 25fps	オプション	前方: 27.5fps / 後方: 25fps / 車内: 15fps
項目	フレームレート設定						
初期設定	前方: 25.4fps / 後方: 25fps / 車内: 25fps						
オプション	前方: 27.5fps / 後方: 25fps / 車内: 15fps						
F 値	【前方カメラ】F2.4 【リアカメラ】F2.0 【車内カメラ】F1.8						

GPS	本体内蔵
G センサー	サポート
HDR	3カメラでサポート
記録方式	常時録画 (走行時録画、ハイパーラプス、タイムラプス) / イベント録画 (Gセンサー録画、マニュアル録画 (手動録画) / 駐車監視 (タイムラプス、動体検知、別売レーダー検知、Gセンサー録画)
録画ファイル構成	常時録画 : 約60秒単位、イベント記録/動体検知 : 約30秒単位
画面サイズ	[前方カメラ] 3.5 インチ フルカラー IPS タッチパネル液晶
音声録音	ON / OFF 切り替え可
フレームレート	約25 コマ/秒、15 コマ/秒、1 コマ/秒
映像ファイル形式	avi
録映像再生方法	専用ビューアソフト
電源電圧	DC12V/24V
消費電力	最大 8W (※省電力待機時 0.05W~0.25W)
動作温度範囲	-10℃ ~+60℃

- ・超広角レンズを採用しているため、視野角は水平方向・垂直方向・対角方向でそれぞれ異なります。
- ・STARVIS (スタービス) は、監視カメラ用途のCMOSイメージセンサー向けに開発された、ソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術で、高感度・高画質を実現します。

microSDカードの取り外し/挿入

- ・本機と市販のmicroSDカードとの相性による動作不具合については保証いたしかねます。
- ・本機は、16GB以上512GB以下のmicroSDカードに対応しています。



● カードを本体から取り外す

- ・車両停止後、電源ボタンを3秒以上長押しして電源をOFFにしてください。
- ・SDカードを押し込むと少し飛び出しますので、そのまま引き抜いてください。

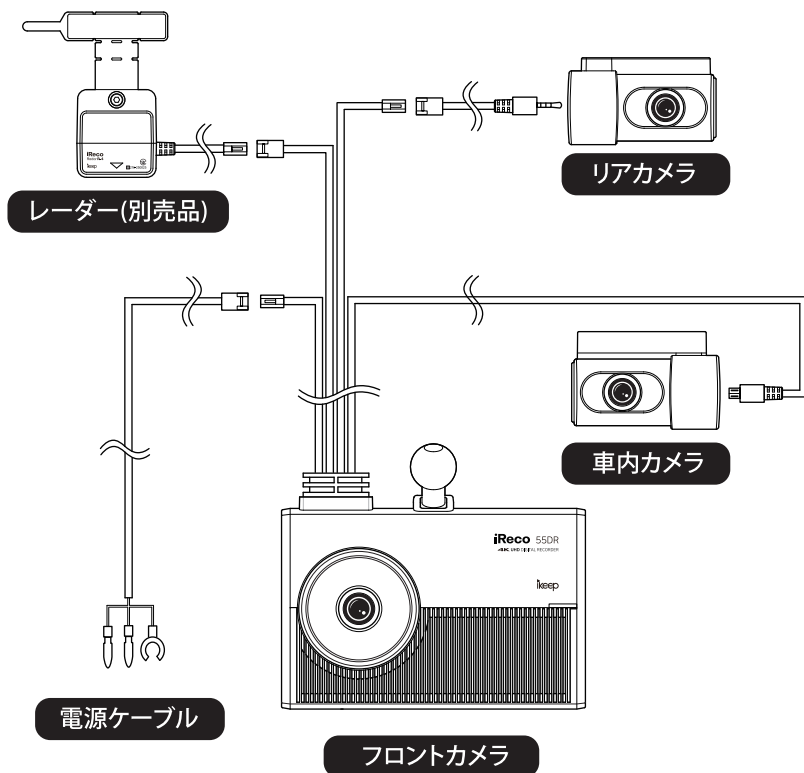
● カードを本体に挿入する

- ・カード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

※ microSDカードの向きに注意して挿入してください。

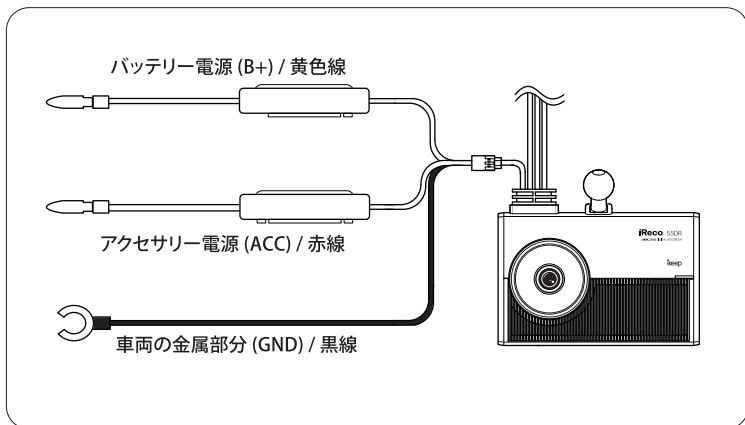
- ・microSDカードは一方方向にしか挿入できません。無理に押し込むと、本体が故障するおそれがあります。
- ・他の機器で使用されたmicroSDカードは、断片化などにより状態が不安定になっている場合があります。その場合、本機でフォーマットできないことがあります。
パソコンでSD Associationが無償配布している「SD Card Formatter」を使用してフォーマットしてからお試しください。
- ・使用環境によっては本体が高温になり、やけどなどのおそれがあります。触れる際は十分ご注意ください。

ケーブル接続構成について



電源ケーブルを接続する

- ・電源ケーブルの黄色線 (B+) は、車両の始動/停止 (ACC ON/OFF) に関係なく、常にバッテリーから電源が供給されるヒューズボックス等の電源回路に接続してください。
- ・入力ケーブルの赤線 (ACC) は、車両の始動/停止 (ACC ON/OFF) に連動するヒューズボックス等の電源回路に接続してください。

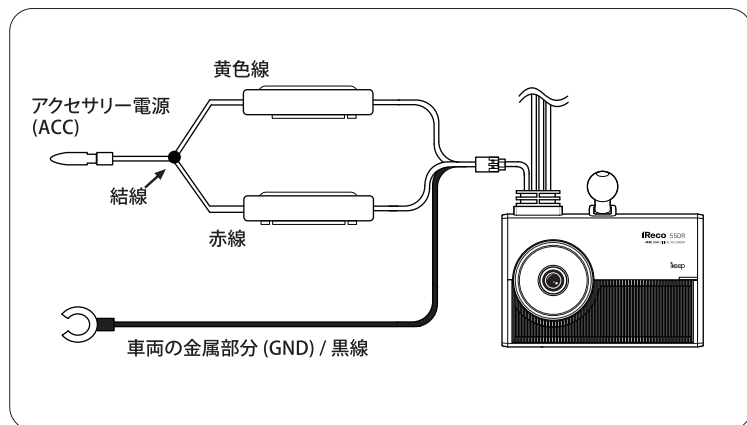


- ・駐車監視モードを使用する場合は、上記の接続方法に従って配線してください。
- ・必ず付属のB+／ACC電源直結ケーブルをご使用ください。

- ☑ ヒューズボックスからの電源の取り出しには、市販品のヒューズ電源取り出しケーブルを使用してください。

電源ケーブルを接続する

駐車監視モードを使用しない場合には黄色線と赤線を結線します。結線したケーブルは、必ずヒューズボックス等の車両の始動/停止 (ACC ON/OFF) に連動する電源に接続してください。



駐車監視モードを使用しない、使用する可能性がない場合は上記の接続方法にしてください。この接続では車両停止 (ACC OFF) 時に電源が供給されないため、バッテリー上がりの心配はありません。

- ✔ ヒューズボックスからの電源の取り出しには、市販品のヒューズ電源取り出しケーブルを使用してください。

配線処理に関する注意

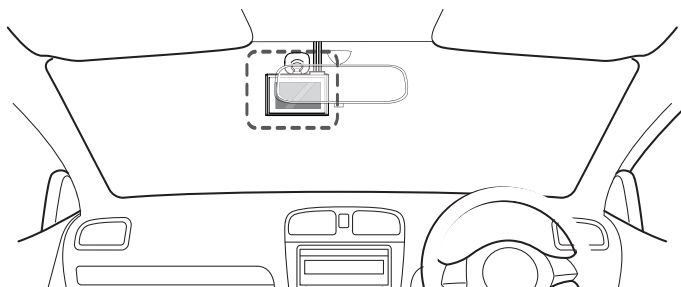
次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・ 運転操作の妨げになる場所や、エアバッグ作動時の妨げとなる場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの温風が直接当たる場所。
- ・ 振動などにより不安定になりやすい場所。
- ・ 配線の挟み込みや被覆の摩擦により、断線やショートが発生するおそれのある場所。
- ・ 車両の電装機器（アンテナなどを含む）の近く。
- ・ 水がかかる場所や、湿気・ほこり・油煙の多い場所。

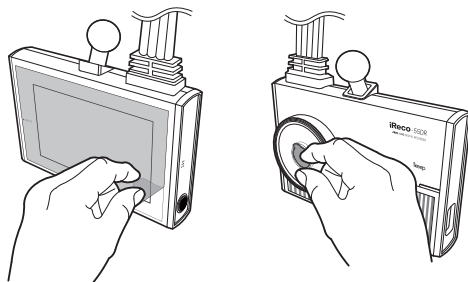
取り付けおよび配線が完了したら、ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどが正常に動作するか確認してください。正常に作動しない場合、火災や感電、交通事故の原因となるおそれがあります。

フロントカメラを取付ける

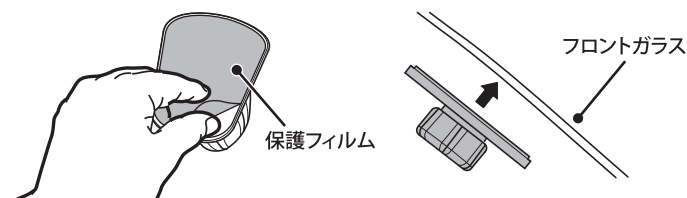
フロントカメラ筐体はフロントガラスに取り付けます。保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認したうえで、取り付けを行ってください。



- ・フロントガラス上部の20%以内の位置に取り付けてください。
- ・運転席から見て、視界を妨げない場所に取り付けてください。
- ・ワイパーの可動範囲内への取り付けをおすすめします。

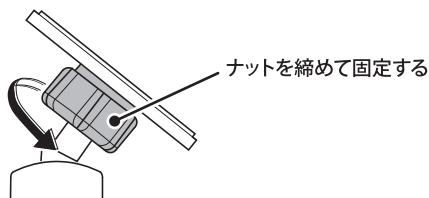


ご購入時には、レンズおよびディスプレイに保護フィルムが貼られています。ご使用の際は、必ずはがしてください。



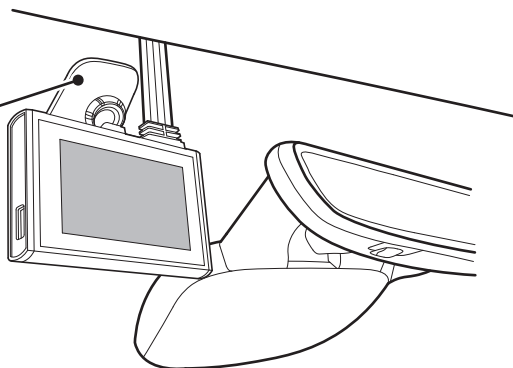
フロントカメラ用ブラケットから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取付けてください。

- ・取り付け前に、必ずフロントガラスの汚れや油分を落としてください。
- ・気温が極端に低い場合は、両面テープの粘着力が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を温めてから貼り付けてください。
- ・貼り直しを行うと、両面テープの粘着力が低下し、脱落するおそれがあります。



- ・確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。
- ・ナットを締めた後は、本体の向きを無理に調整しないでください。ブラケットのジョイント部に負担がかかり、破損するおそれがあります。
- ・向きを調整する場合は、必ずナットを緩めてから行ってください。

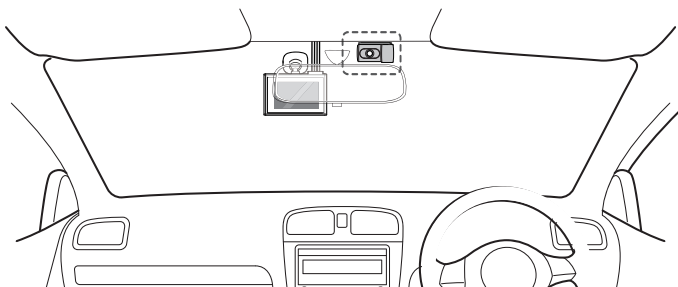
ブラケットは短い辺を上に向けて貼り付けます。



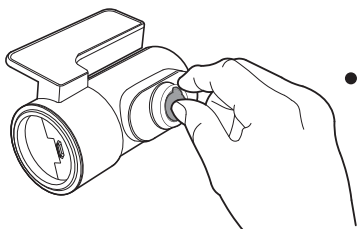
- ・レンズの向きが、車両の進行方向に対して水平に、筐体の液晶面が床と垂直になるように調整してください。
- ・フロントカメラのレンズは、焦点のチューニングが精密に行われていますので、取り付け角度がずれていると本来の性能が発揮できない場合があります。

車内カメラを取付ける

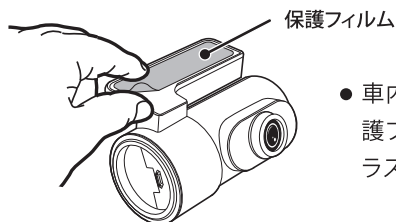
フロントガラス中央付近で、運転時の視界を妨げない位置を選んでください。



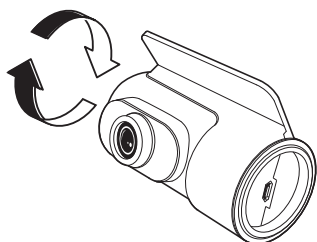
- ・車両の装備類と干渉しないことを確認したうえで、取り付けを行ってください。
- ・地デジやラジオのアンテナ付近にカメラを取り付けたり、ケーブルを配線したりすると、受信感度が低下するおそれがあります。
- ・車内カメラは別売の延長ケーブルと合わせて使用することで、リアガラスに前向きに取り付けることもできます。



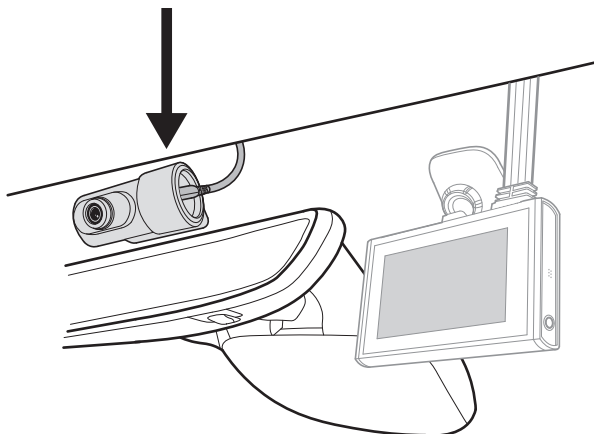
- ご購入時には、レンズに保護フィルムが貼られています。ご使用の際は、必ずはがしてください。



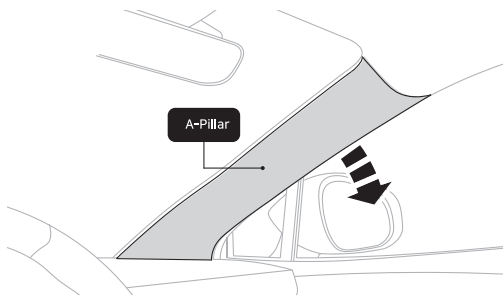
- 車内カメラ用ブラケットから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付けてください。



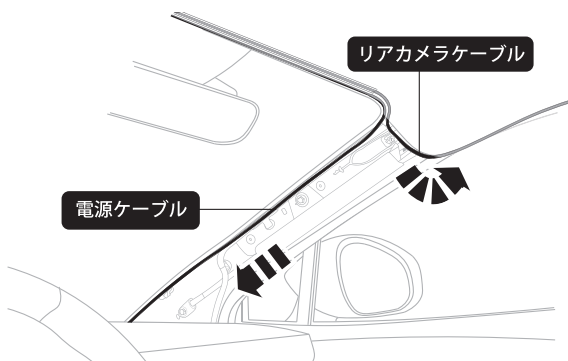
- カメラを回転させ、上下の角度を適切に調整してください。



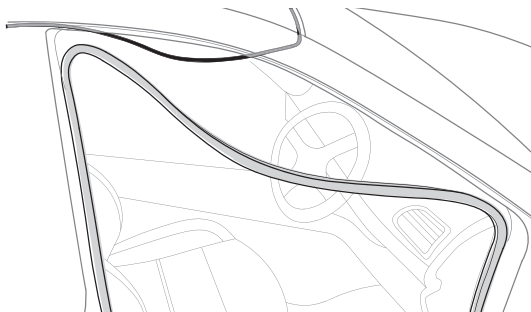
ケーブル配線処理方法



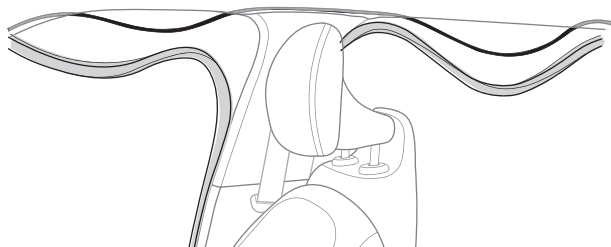
- リアカメラケーブルと電源ケーブルは、車両のAピラー内に地デジアンテナからできるだけ遠ざけて配線してください。
- タイラップを使用し、200mm間隔で配線を束ねて整理することを推奨します。



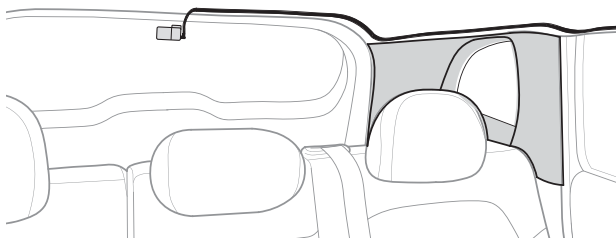
- Aピラーに沿って電源ケーブルを下方向へ這わせ、必要に応じてAピラー下部のカバーを取り外し、配線を隠してください。



- リアカメラケーブルの配線準備として、Aピラー上端のウェザーストリップ（ゴムシール）を取り外してください。
- リアカメラケーブルをウェザーストリップ内に通して配線し、その後、ウェザーストリップを元の位置に戻してください。

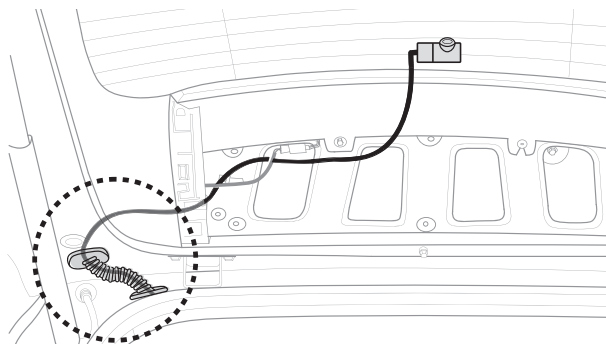


- リアカメラケーブル用のウェザーストリップを、後部座席側のAピラー上部まで完全に外してください。
- ケーブルを内側に通した後、ウェザーストリップを元の位置に戻してください。



セダン

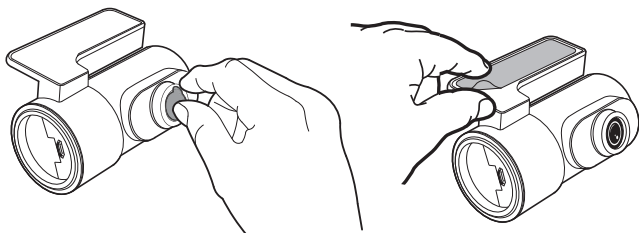
- リアカメラケーブルをリアウィンドウ中央部から車内へ引き込み、ケーブルをルーファイニングに押し込んでください。



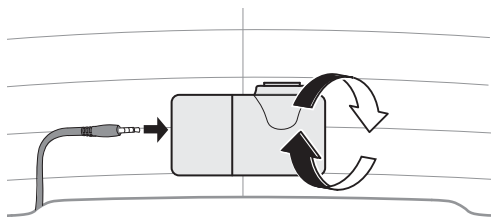
ハッチバック

- リアカメラケーブルを、車室とテールゲート／ハッチバックのトランクルームを接続しているゴムグロメット（またはゴムブーツ）の方向へ押し込んでください。
- テールゲート／ハッチバック内側のトリム（内装パネル）を取り外すと、カメラの最終接続部にアクセスできます。

リアカメラを取付ける



- ご購入時には、レンズに保護フィルムが貼られています。ご使用の際は、必ずはがしてください。
- ブラケットから保護フィルムをはがし、リアガラスに取り付けてください。



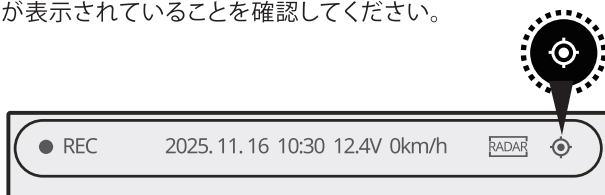
- カメラを回転させ、上下の角度を適切に調整してください。
テープの貼り付け面が、リアカメラの電熱線と重ならないように取り付けてください。

- ・ リアガラスがプライバシーガラスの場合、夜間に記録した映像は特に見えにくくなることがあります。
- ・ 電動リアサンシェードなど、車両の装備と干渉しないことを確認したうえで、取り付けを行ってください。

動作を確認する

1. GPSの受信を確認する

- 車両のキースイッチをONにし、本体が起動した後、GPSアイコンが表示されていることを確認してください。



- GPSを受信することで、本体の日時が自動的に設定されます。

※衛星の配置や車両の位置、周囲の環境により、GPSの受信には数秒から10分程度かかる場合があります。

・衛星からの信号を受信できない、以下のような場所では、本製品のGPS機能が動作せず、GPSによる表示が正しく行われません。

※ トンネル、地下道、建物内、ビルに囲まれた場所、鉄道や道路の高架下、森林内など。

その場合は、場所を移動してから再度ご確認ください。

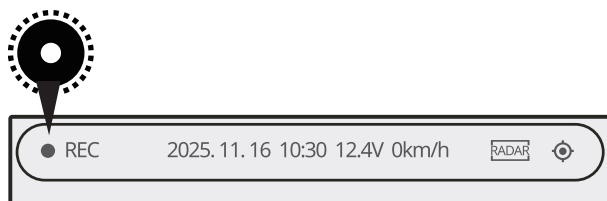
動作を確認する

2. マニュアル録画の動作を確認する

- ディスプレイのライブ映像から、[マニュアル録画] ボタンをタッチします。



- ブザー音が鳴り、ボタンが黄色に変わるとともに、ディスプレイ左上の「REC」表示アイコンが赤色から黄色に点滅します。この状態で音声および録画データがマニュアル録画フォルダに記録されます。

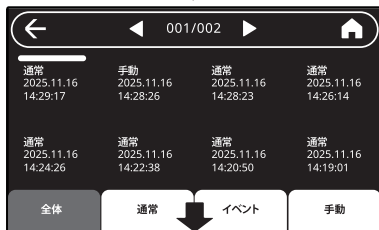


- ・音声は自動で録音されます。
- ・お買い上げ時の録音設定は【ON】になっています。設定で【OFF】に変更することもできます。

動作を確認する

3. 記録した映像を確認する

- ディスプレイ右下のアイコンからメニューに移動した後、[再生] ボタンを押して録画リストを表示してください。
一覧から映像を選択すると、録画映像が再生されます。



- [映像切替スイッチ]を押
し、車内カメラとリヤカメ
ラの映像も正常に記録さ
れていることを確認く
ださい。



ライブビュー

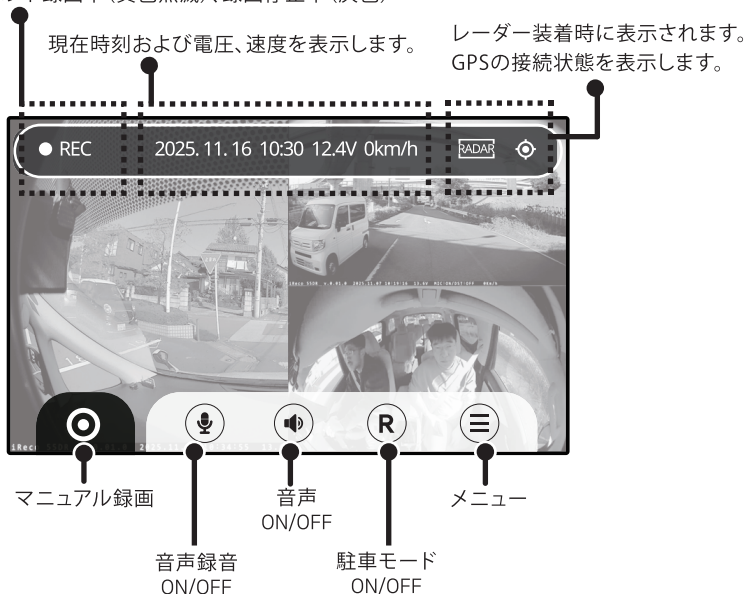
前方 カメラ	リア カメラ
	車内 カメラ

- 画面上のアイコン以外の場所を一度タッチすると、メニューバーが消え、前方・車内・リアカメラのリアルタイム映像を3分割表示します。以降、画面をタッチするたびに、表示は次の順で切り替わります。

※ 前方 ⇒ 後方 ⇒ 車内 ⇒ 3分割

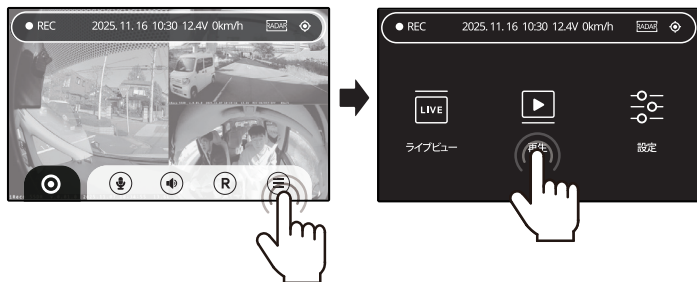
- ライブビュー中に画面の操作を5秒間行わないと、メニューバーが再表示されます。

走行録画中(赤色点滅)、
イベント録画中(黄色点滅)、録画停止中(灰色)



本体で映像を再生する

1. **[メニュー]**アイコンをタッチ、メインメニューを表示します。
2. **[再生]**をタッチして、録画リストを表示します。



3. 録画リストからファイルを選択すると、再生画面が表示されます。



- **[全体]** すべての録画ファイルリストを表示します。
- **[通常]** 常時録画、ハイパーラプス、タイムラプスの録画ファイルリストを表示します。
- **[イベント]** 衝撃検知、動体検知、レーダー検知によって記録された録画ファイルリストを表示します。
- **[手動]** マニュアル録画されたファイルリストを表示します。

本体で映像を再生する

4. 映像の再生が始まります。

再生画面で表示される情報

フォルダー名と、録画した[年/月/日/時]を表示します。



映像切替スイッチ

1	2	3
前方カメラ	リアカメラ	車内カメラ

パソコンで映像を再生する

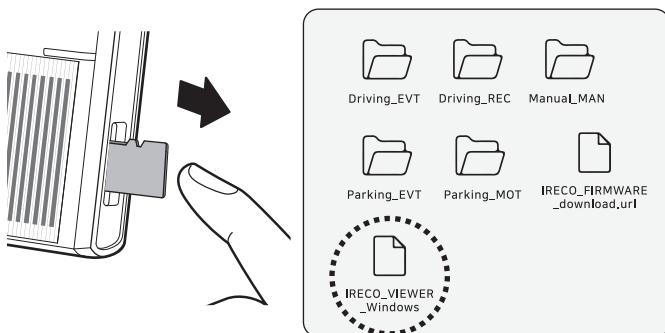
本製品で録画した映像は、専用ビューワソフトを使用することで、映像の明るさの調整、視点移動、拡大などの操作が可能です。

また、速度などの各種情報とあわせて映像を再生できます。

専用ビューワソフトを使用する際は、以下のパソコン動作環境を推奨します。

OS	日本語版 Windows 10 / 11
CPU	Intel Core i5 プロセッサ 2.7GHz 同等以上を推奨
グラフィックス	intel HD Graphics 620 同等以上を推奨
メモリー	8GB 以上を推奨
画面解像度	Full HD (1920 × 1080 ピクセル) 以上を推奨

1. 本体からmicroSDカードを取り外した後、カード内の
[IRECO_VIEWER_Windows] ファイルをクリックすると、ビューワソフトをダウンロードが開始されます。



パソコンで映像を再生する

2. ダウンロードしたファイルを展開します。

展開されたファイルをダブルクリックして、インストールを進めます。



Install_IReco_Viewer
_Ver_1.0.0(X2).exe



「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」

というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックしてインストールを続行してください

・nortonなどの市販のセキュリティソフトでブロックされる場合には、セキュリティソフトの監視を一時無効にしてください。

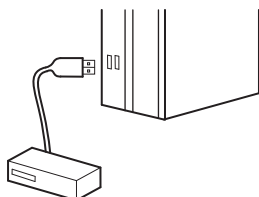
3. インストールしたビューアソフトを起動してください。

- デスクトップに生成された[iReco PCViewer] アイコンをダブルクリックする。

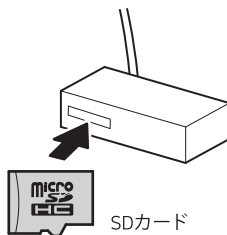


4. 録画ファイルを再生する

- カードリーダーをパソコンに接続し、microSDカードをカードリーダーに接続する



カードリーダー



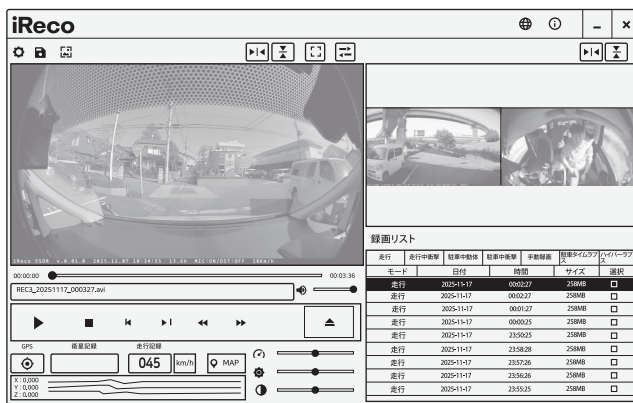
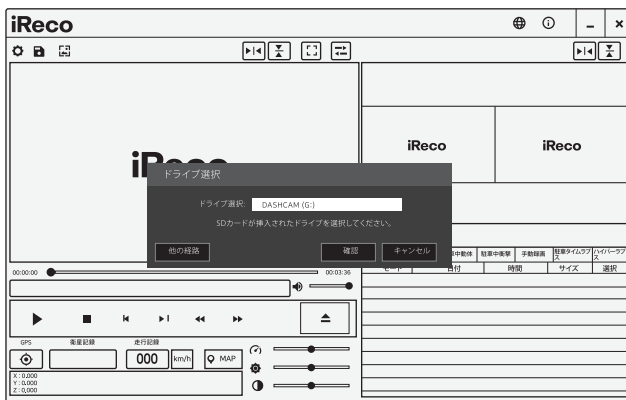
SDカード

パソコンで映像を再生する

5. microSDカードが挿入されたドライブを選択してください。

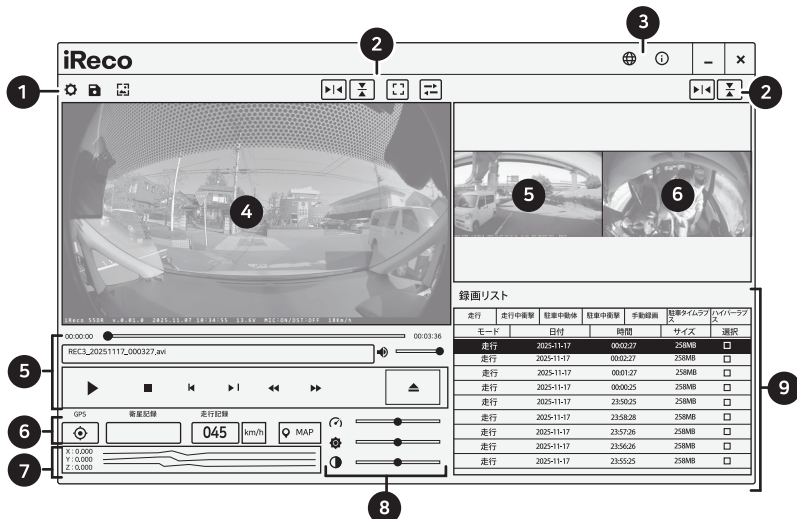
- microSDカードのドライブを選択し、
[確認] をクリックする

確認



専用ビューソフトについて

画面の表示項目について



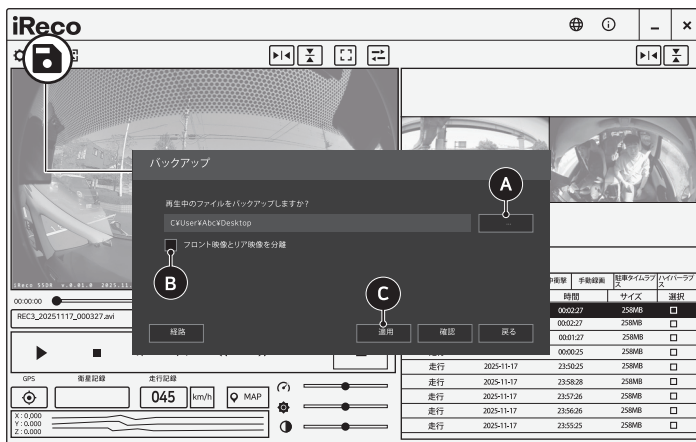
1		設定 - 本体機能設定
		バックアップ - 再生されている録画ファイルをパソコンに保存します。
		再生中／一時停止中の映像から静止画 (JPEG) に変換して保存します。
2		再生中の映像を左右反転して表示します。
		再生中の映像を上下反転して表示します。
		クリックすると全画面で表示されます。
		フロント／車内／リヤカメラの映像表示の領域を切り替えます。

専用ビューアソフトウェアについて

3	 	言語選択 / ビューアソフト情報
	 	最小化ボタン / ビューアソフトを終了する
4		フロントカメラの映像を表示。 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る。
		リヤカメラ, 車内カメラの映像を表示。 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る。
5		タイムライン - クリック位置から再生できます
		現在再生中のファイル名を表示します
		再生中のファイルの音量を調整します。
		ファイルコントロール
		保存されているファイルの場所を読み込みます。
6		GPS接続状態を表示します。
		衛星記録 - 緯度と経度を表示します。
		GPSで記録した走行速度を表示します。
		クリック時に、km と Mile の単位を変換します
		Googleマップに走行軌跡を表示 ※GPS未受信状態での記録映像やインターネット非接続時は表示されません。
7		録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。
8		再生速度を調整します。
		明るさを調整します。
		コントラストを調整します。
9		再生リスト表示します。

専用ビューソフトウェアについて

記録映像の保存方法



- 1 保存する動画の選択のチェックボックスをクリックしてチェックします。
- 2 左上の「」をクリックしてください。
- 3 「**A**」画面で保存先 (保存パス) を指定します
- 4 前方映像と後方映像を個別のファイルとして保存する場合は、「**B**」にチェックを入れてください
- 5 「**C**」「適用」または「確認」ボタンをクリックして、バックアップを開始します。

※「適用」は、保存後に一旦保存ウィンドウを閉じます。「確認」は保存ウィンドウが継続して表示されます。

専用ビューアソフトウェアについて

※ 専用ビューアソフトの機能は、アップデートごとに変更される場合があります。

設定メニューの詳細

The screenshot shows the '設定' (Settings) menu with the following sections and numbered callouts:

- 1 フロントカメラ (Front Camera):**
 - 解像度 (Resolution): 3840 x 2160
 - ハイパーラプス (Hyperlapse): OFF
 - 走行衝撃感度 (Driving Impact Sensitivity): 3
 - フレームレート (Frame Rate): 25fps
- 2 リアカメラ (Rear Camera):**
 - 解像度 (Resolution): 1920 x 1080
 - リアカメラ左右反転 (Rear Camera Left/Right Flip): OFF
 - インカメラ左右反転 (In-Camera Left/Right Flip): OFF
- 3 LED:**
 - セキュリティ LED (Security LED): 常時 OFF, 録画 OFF
- 4 ADAS (Advanced Driver Assistance System):**
 - ADAS: ON
 - 前方衝突警報 (Front Collision Warning): OFF
 - 車線逸脱警報 (Lane Departure Warning): ON
 - 前方車両発進警報 (Front Vehicle Start Warning): ON
 - 車線逸脱警報速度 (Lane Departure Warning Speed): 60km/h
 - 前方衝突警報速度 (Front Collision Warning Speed): 60km/h
 - ADAS 音量 (ADAS Volume): 中
- 5 音量 (Volume):**
 - 音量調整 (Volume Adjustment): 中
 - 音声案内 (Voice Guidance): ON
 - 音声案内 (Voice Guidance): ON
 - イベントブザー 音 (Event Buzzer Sound): ON
- 6 システム (System):**
 - スクリーンセーバー (Screen Saver): 1分後に OFF
 - モニターの明るさ (Monitor Brightness): 中
 - 駐車監視停止電圧 (Parking Monitor Stop Voltage): 12.0V / 24.0V
- 7 イベント (Event):**
 - 駐車録画 (Parking Recording): ON
 - レーダー + 衝撃検知 (Radar + Impact Detection): ON
 - 駐車衝撃感度 (Parking Impact Sensitivity): 3
 - 動体検知感度 (Moving Object Detection Sensitivity): 3
 - タイマー (Timer): 常時 ON
 - 乗車キャンセルタイマー (Get-out Car Cancel Timer): OFF
 - 降車キャンセルタイマー (Get-out Car Cancel Timer): OFF
- 8 情報 (Information):**
 - モデル名 (Model Name): 55DR
 - ファームウェア Ver. (Firmware Ver.): 0.09.1
 - PC ビューア Ver. (PC Viewer Ver.): 1.0
- 9 設定初期化 (Reset Settings):** Button at the bottom left.
- 保存 (Save):** Button at the bottom right.
- キャンセル (Cancel):** Button at the bottom right.

(★) は初期値です。

1	フロントカメラ	解像度固定
		ハイパーラプス「ON / OFF(★)」の選択
		走行衝撃感度を「1/2/3(★)/4/5」から選択
		フレームレート「25fps(★) / 27.5fps」の選択
	リアカメラ	「25fps」 前方: 25.4fps / 後方: 25fps / 車内: 25fps 「27.5fps」 前方: 27.5fps / 後方: 25fps / 車内: 15fps
		解像度固定
		リアカメラ左右反転「ON / OFF(★)」の選択
		車内カメラ左右反転「ON / OFF(★)」の選択

専用ビューアソフトウェアについて

(★) は初期値です。

2	LED	セキュリティ LED 「常時 OFF、録画 ON(★) / 常時 ON、録画 ON 常時 OFF、録画 OFF」から選択
3	ADAS	ADAS使用「使用する際はチェック」
		前方衝突警報「ON / OFF(★)」の選択
		車線逸脱警報「ON(★) / OFF」の選択
		先行車発進警報「ON(★) / OFF」の選択
		車線逸脱警報速度 「60km/h(★)、80km/h、100km/h」から選択
		前方衝突警報速度 「60km/h(★)、80km/h、100km/h」から選択
		ADAS 音量「小 / 中(★) / 大」から選択
4	時間	日付/時間
		タイムゾーン
5	音量	音量調整「小 / 中(★) / 大」から選択
		音声録音「ON(★) / OFF」の選択
		音声案内「ON(★) / OFF」の選択
		イベントブザー 音「ON(★) / OFF」の選択
6	システム	スクリーンセイバー 「30秒後にOFF(★) / 1分後にOFF / ライブビュー 時計 / ADAS / 速度」から選択
		モニターの明るさ「低 / 中(★) / 高」の選択
		駐車監視停止電圧 「OFF, 11.8V/23.6V, 11.9V/23.8V, 12.0V/24.0V(★), 12.1V/24.2V, 12.2V/24.4V, 12.3V/24.6V, 12.4V/24.8V」 から選択

専用ビューアソフトウェアについて

(★) は初期値です。

7	イベント	駐車録画 「タイムラプス + 衝撃検知」 「動体検知 + 衝撃検知」 「レーダー + 衝撃検知」 から選択 動体検知および衝撃検知の感度を「1/2/3(★)/4/5」から選択
		タイマー 「常時ON(★) / 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 5時間 / 6時間 / 12時間 / 24時間」から選択
		降車キャンセルタイマー 「ON / OFF(★)」の選択
		乗車キャンセルタイマー 「ON / OFF(★)」の選択
8	情報	モデル名 / ファームウェア Ver. / PCビューア Ver.
9	設定初期化	クリックすると、工場出荷時の設定に初期化されます。

- ・本機で記録した映像は、VLCなどのパソコン用汎用ソフトでも再生できる場合がありますが、動作を保証するものではありません。
- ・事故発生時や、iZONEなどで電源が強制的に遮断された場合、汎用ソフトでは正常に再生できないことがあります。
- ・その場合は、本機またはiRecoビューアで一度再生し、ファイルの再構成を行ってください。

※本機およびiRecoビューアでは、再生時に自動でファイルの再構成が行われます。

地図表示について

- 走行速度およびGoogle マップは、GPS情報が取得できている場合に表示されます。
- Google マップはインターネットに接続されていない場合、表示されません。
- 地図上には、ファイルごとの走行軌跡や位置情報が表示されます。

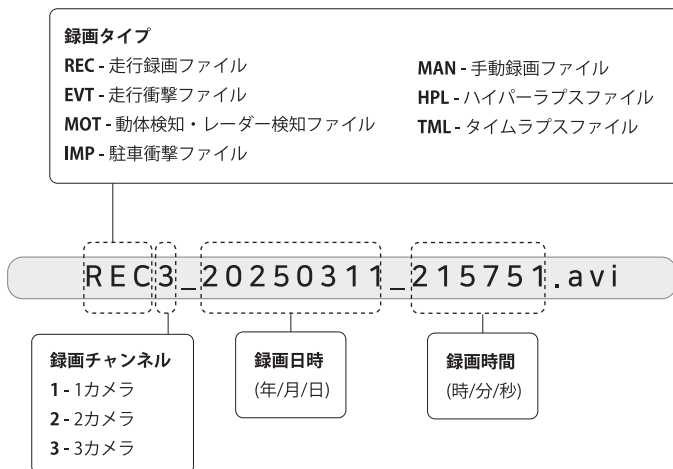


録画映像の保存場所について

- 製品の動作モードに応じて、録画された映像は、それぞれ該当するフォルダーに保存されます。
この際、製品画面に表示されるフォルダー名と、microSDカード上の実際のフォルダー名は以下のとおりです。

フォルダー名	ファイル
Driving_EVT	走行中の衝撃検知録画
Driving_REC	走行録画, ハイパーラプス, タイムラプス
Manual_MAN	手動録画
Parking_EVT	駐車中の衝撃検知録画
Parking_MOT	動体検知録画, レーダー検知録画

● 録画ファイル名



駐車監視モード

- 本機には、車両停止 (ACC OFF) 状態で駐車中の記録を行うための駐車監視モードがあります。
- 駐車監視モードを使用するには、車両停止 (ACC OFF) 状態でも電源供給が必要となるため、バッテリー電源 (B+) への接続が必須です。電源の接続方法をご確認ください。
- 駐車監視モード中は、マニュアル録画を行うことはできません。
- 駐車監視モード中は、画面自動OFFの設定に関わらず、約5秒後に画面がOFFになります。
- 録画ファイルは、1ファイルあたり約30秒で生成されます。
- SDカードの容量やパーティション設定によって、記録できるイベント件数は異なります。記録容量の上限に達した場合には、古い録画ファイルを上書きして録画を継続します。
- 駐車監視モードを使用する際には、必要に応じてmicroSDカードの常時録画 / イベント録画のパーティション割合を変更してください。

駐車監視モードの選択

- 本製品の駐車監視モードは [OFF/ON] から選択できます。お買い上げ時は [ON] に設定されています。
- 本製品の駐車監視録画方式の設定は、以下の4種類から選択します。
 - ・省電力クイック衝撃検知モード (別売の外部レーダー未接時)
 - ・タイムラプス+衝撃検知モード
 - ・動体検知+衝撃検知モード
 - ・レーダー+衝撃検知モード (別売の外部レーダー接続が必要)

駐車監視の各モード概要

● 省電力クイック衝撃検知モード

- ・ Gセンサー部のみで監視を行い、本体部は省電力のスリープ状態になります。(待機中の消費電力は平均0.05W程度)
- ・ Gセンサーが衝撃を検知すると、約2.5秒後から30秒間の録画を行い、省電力のスリープ状態に戻ります。

● タイムラプス＋衝撃検知モード

- ・ 1fps (1秒間に1枚の静止画) を記録し、実際の時間よりも短い動画として保存することで、長時間の常時録画ができます。その際には音声は録音されません。
- ・ 約8分間の動画を1ファイルとして保存します。
- ・ 衝撃を検知すると、検知から5秒前+25秒後の映像と音声を通常フレームレートで録画し、その後に1fpsでの録画状態に戻ります。

● 動体検知＋衝撃検知モード

- ・ 内蔵のメモリに常に一時データを保存しながら、動体・衝撃が検知された場合には、検知から5秒前+25秒後のデータをmicroSDカードに保存します。音声は録音されます。

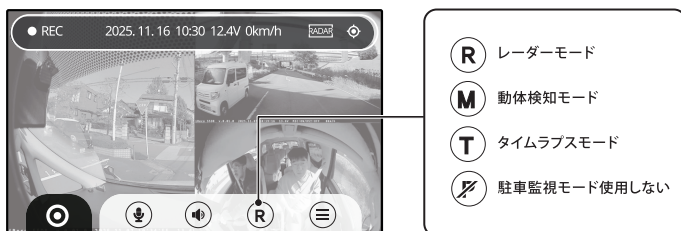
● レーダー＋衝撃検知モード

- ・ 別売のレーダーセンサーにより、平均0.1W以下の省電力でマイクロ波を使って車両周辺を常時監視し、車両や人の動きを検知します。
- ・ 監視時には本体部は省電力のスリープ状態になります。
- ・ レーダーが動きを検知すると、約2.5秒後に録画機能が起動し、最低30秒間の音声を含む録画を行い、録画が終了すると監視状態に戻ります。

駐車監視モードの起動・終了動作

● 駐車監視モードに移行する

駐車監視のアイコンがアクティブな状態では、車両キースイッチ (ACC) をOFFにすると、設定画面で選択された駐車監視モードが起動します。アイコンをOFFにすると、次にオンにするまで駐車監視モードはキャンセルされ、車両キースイッチに合わせて電源がOFFになります。



● 駐車監視モードを終了し、走行時の録画モードに移行する

駐車監視モードが動作中に、車両のキースイッチ (ACC) をONにすると駐車監視モードが終了し、走行時の録画モードが起動します。

● 駐車監視モードの動作中に手動で終了する場合

駐車監視モードが動作中に、フロントカメラ筐体の電源ボタンを長押しすると、駐車監視モードが終了し電源がOFFになります。その後に車両のキースイッチ (ACC) をONにすると、走行時の録画モードが起動します。

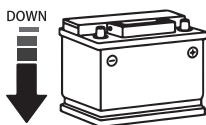
● 駐車監視モードは、予め設定されたタイマー時間が終了した時、または車両の補器バッテリーの電圧が、バッテリー保護のための駐車監視終了(カットオフ)電圧以下になった時に終了し、電源がOFFになります。

● 自宅の駐車場などの駐車監視が必要ない場所のみで、自動的に駐車監視をキャンセルしたい場合には、GPSで駐車監視のON/OFFを自動制御するiZONEとの併用を推奨します。

駐車監視モードの終了動作について

- 駐車監視モードが強制的に終了される条件

- ・ 車両バッテリーの電圧が設定値以下に低下する
- ・ 設定した録画時間を経過する



- 車両キースイッチをON(ACC)にして、駐車監視モードを終了した後の動作

- ・ [駐車時衝撃検出アナウンス]

駐車監視モード中に衝撃検知録画を行った場合、次回のキースイッチ (ACC) ON動作の後の起動時に、駐車監視モード中に衝撃検知録画を行ったことを音声アナウンスと画面表示でお知らせします。

- ・ [アナウンスキャンセルタイマー]

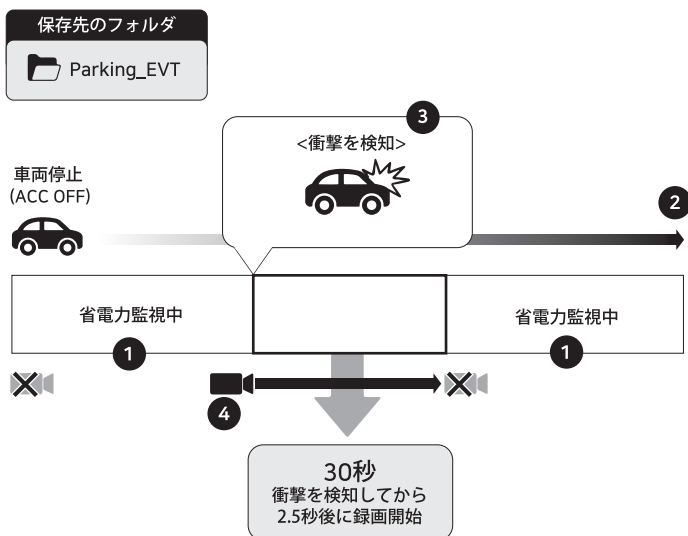
キースイッチOFF後・キースイッチON後の一定時間は、衝撃検知録画のアナウンスは、降車・乗車時の振動としてキャンセルされます。(録画はキャンセルされません)

キャンセルタイマーはOFF/30秒/1分から選択できます。

省電力クイック衝撃検知モード

使用条件:別売品のレーダーセンサーを接続しない場合

このモードは別売品のレーダーセンサーを接続しない状態でのみ、動作が可能です。省電力の待機状態から衝撃を検知すると、約2.5秒後に30秒間の録画を行います。



- 省電力クイック衝撃録画モードの感度は最大値での固定です。
- 待機中の消費電力は平均約0.05W程度。
- 30秒間の衝撃検知録画が終了すると、省電力の待機状態に戻ります。
- メニュー表示は「レーダー+衝撃検知」が該当しますが、レーダーが接続されていない場合にはこのモードで動作します。
- 録画開始時には、一瞬画面が白くなったり黒くなったりすることがありますが、これは録画開始までの時間を短縮するための仕様で、故障ではありません。

タイムラプス+衝撃検知モード

使用条件:別売品のレーダーセンサーの接続の有無に関わらず

- 1fps (1秒1コマ撮影) のタイムラプス方式で常時録画を行います。衝撃を検知すると検知の5秒前から30秒間、通常録画のコマ数で音声録音を含むイベント録画を行います。

保存先のフォルダ

Driving_REC

車両停止
(ACC OFF)



<衝撃を検知>



2



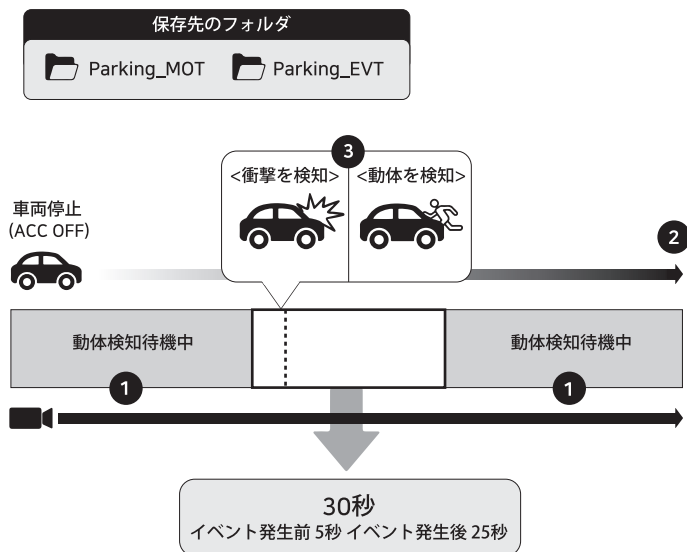
30秒
イベント発生前 5秒 イベント発生後 25秒

- タイムラプスモードの衝撃検知の感度は、1/2/3/4/5の5段階で個別に設定できます。(※1=最小、5=最大)
- 電力消費は6.2W程度と大きくなるため、iCELLシリーズなどのドラレコ専用の外部バッテリーとの併用を推奨します。
- タイムラプスモードでは、1fpsでの録画時には音声は録音されません。
- タイムラプスモードでは、8分間に撮影した動画を一つのファイルとして保存します。
- タイムラプスモードで撮影した動画は、約25倍速の早送りで再生されます。

動体検知＋衝撃検知モード

使用条件：別売品のレーダーセンサーの接続の有無に関わらず

- 映像内で動体を検知した時、またはGセンサーで衝撃を検知した時に、検知の5秒前から25秒後の30秒間の録画を行います。



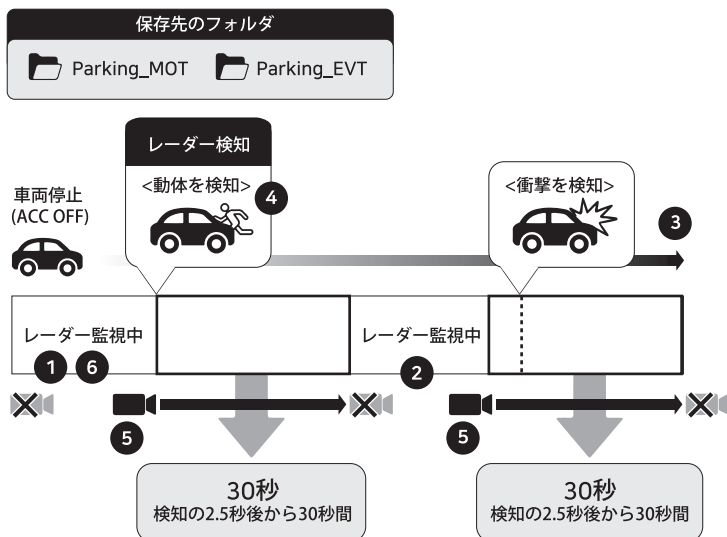
- 動体検知、衝撃検知の感度は、それぞれ1/2/3/4/5の5段階で個別に設定できます。(※1=最小、5=最大)
- 音声も合わせて録音しますが、電力消費は6.5W程度と大きくなるため、iCELLシリーズなどのドラレコ専用の外部バッテリーとの併用を推奨します。
- 衝撃検知では、ドアパンチなどの小さな衝撃は検知できない可能性があります。動体検知の感度を最大に設定した場合、ドアの開閉の5秒前からの映像を動体検知で記録することを想定しています。

※周囲の明るさなどの環境によっては、検知できない可能性もございます。

レーダー動体検知＋衝撃検知モード

使用条件：別売品のレーダーセンサーを使用する場合

別売のレーダーセンサーを接続した状態でのみ選択できるモードです。レーダーのマイクロ波で監視をしながら、平均0.1W程度の省電力で待機します。動体を検知した後の約2.5秒後から、最低30秒間の録画を行い、録画中に再検知すると、録画を延長します。



- レーダーによる省電力監視中に動体よりも先に衝撃を検知した場合には、検知の2.5秒後から30秒間の衝撃検知録画を行います。
- 衝撃検知の感度は、1/2/3/4/5の5段階で設定できます。
(※1=最小、5=最大)
- レーダーによる動体検知の感度は、「最大」で固定です。

録画開始時には、一瞬画面が白くなったり黒くなったりすることがありますがこれは録画開始までの時間を短縮するための仕様で、故障ではありません。

※ レーダーによる監視中には0.1W程度の微電力しか消費しませんが、録画動作中には6.5W程度の電力を消費します。

レーダーモードの再検知時の動作詳細

衝撃検知録画中に再度衝撃を検知した場合

- 現在行っている 30秒間の衝撃検知録画が終了した後に、追加で30秒間の衝撃検知録画を行います。

※ 録画時間は重ならず、順番に追加されます。

衝撃検知録画中にレーダーで動体を検知した場合

- 衝撃検知録画は、既定の30秒間をそのまま継続します。
- 同時に衝撃検知録画の終了5秒前から25秒後までの合計30秒間をレーダー検知録画として追加で記録します。
- この場合の録画ファイルについて、一部の時間帯は、「衝撃検知録画ファイル」「レーダー検知録画ファイル」の2つの録画ファイルに重複して保存されます。

※ 録画データが欠落することはありません。

レーダー検知録画中に再度レーダーで動体を検知した場合

- 現在の 30秒間の録画が終了した後、追加で30秒間のレーダー検知録画を行います。

※ 検知が続くと、録画時間が順次延長されます

レーダーモードの再検知時の動作詳細

レーダー検知録画中に衝撃を検知した場合

- 衝撃を検知した5秒前から25秒後までの合計30秒間を衝撃検知録画として追加で記録します。

※レーダー検知録画とは別の録画ファイルとして保存されます。

レーダーモードの補足事項

- 衝撃検知とレーダー検知はそれぞれ独立して動作します。
- 衝撃検知録画データは"Parking_EVTフォルダ"に、レーダー検知動画は"Parking_MOTフォルダ"に保存されます。
- 同時または連続して検知された場合でも、録画が中断されることはありません。
- 状況に応じて録画は自動的に追加・延長されます。

レーダーセンサーについて

別売のレーダーセンサーについて

- 別売のレーダーセンサーは、検知の目的と車両サイズに合わせて、最大で2台まで接続することができます。

※レーダーセンサーを2台設置するためには、別売の後方用レーダーセンサー分岐延長ケーブルが必要です。

レーダーセンサーによる検知範囲

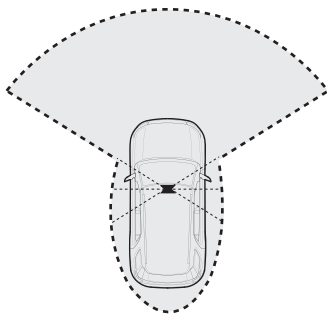
- レーダーセンサーによる動体の検知距離は、レーダー取り付け位置から前後方向に4～5mです。
- マイクロ波は水平報告に120°、垂直方向に30°の範囲で照射され、車両の横方向はマイクロ波の車内反射によりカバーします。
- 検知範囲はボディやヘッドレストなどのマイクロ波を遮る車両の内装物により、影響を受けることがあります。
- 車両のサイズやボディ形状により、側方・後方の検知精度が落ちることがあります。
- レーダーセンサーは、前方からの当て逃げ、車両全体へのイタズラの動画の記録を主な目的としており、後方からの当て逃げを考慮する場合には、後方にもレーダーセンサーを取り付けることを推奨します。

レーダーセンサーによる検知範囲のイメージ図

- 車両の構造や周辺的环境等によって検知範囲は異なります。
- ボディタイプ (セダン/ワンボックス/SUV 等) ・取付位置・内装品形状 (ヘッドレストや座席等)、ピラー形状の影響により検知できない場合があります。
- 本機の正面近傍や周囲に車両の内装物等電波を遮るものがある場合は検知範囲に影響を及ぼす場合があります。

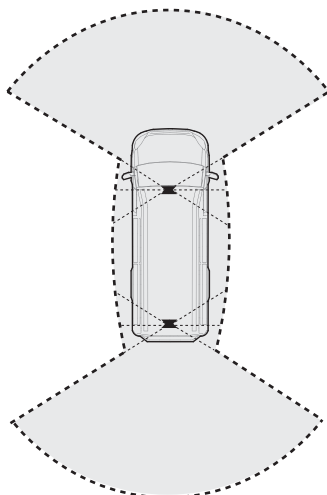
※ レーダーセンサーの詳細仕様については、iReco RADAR R-4の取扱説明書をご参照ください。

レーダーセンサーを 前方のみ取り付けた場合



- リアガラスが寝ている車両の場合には、レーダーから水平方向に見た熱線 (デフォッガー) の密度が上がりますので、検知精度が下がる場合があります。
- 大型のリアウィングが装着されている場合には、検知精度が下がる場合があります。

レーダーセンサーを 前方・後方に取り付けた場合



- 車長が長いミニバンでは、レーダーの取り付け位置から車両後端までの距離が長くなるため、検知精度が下がる場合があります。このような車両で後方の検知を確実に行いたい場合は、後方にもレーダーセンサーを取り付けることを推奨します。

安全運転支援機能(ADAS)について

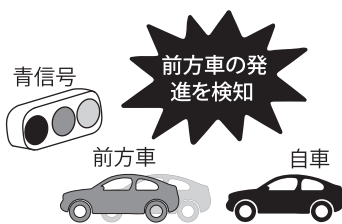
- 全運転支援機能(ADAS)は、運転者の判断を補助し、運転時の負担を軽減することを目的とした機能です。事故を未然に防ぐことを保証するものではありません。
- 安全運転支援機能は、録画中および常時録画中(録画画面表示時／画面OFF時を含む)にお知らせを行います。



- ・ 運転中は、前方および後方車両との距離、周囲の状況、道路や天候などの運転環境に十分注意し、常に安全運転を心がけてください。
- ・ 前方衝突警報、車線逸脱警報、先行車発進警報を使用する場合は、取り付け位置に条件があります。必ずフロントガラス上部の中央に取り付けてください。

先行車発進警報

信号待ちで会話に夢中になっている場合など、前方車が発進したにもかかわらず、自車が停車したままのときにお知らせします。



警告音「ブザー音」

※ ブザー音「OFF」の場合、警告音は鳴りません。



- ・ 本機能は停車時に作動します。
- ・ 画像処理により前方車両を検知しているため、紛らわしいシルエットを誤認識する場合があります。
- ・ 前方車の形状や色、前方車との距離、周囲の状況、気象条件などにより、正常に機能しない場合があります。
- ・ GPSから算出される自車速度は、数秒間の平均値に基きますので、自車が発進していても警報が作動する場合があります。

車線逸脱警報

走行中に自車が車線を逸脱(走行車線からはみ出し)したことを検知するとお知らせします。



警告音「ブザー音」

※ ブザー音「OFF」の場合、警告音は鳴りません。



- ・ 本機能は、GPS測位が完了している状態で作動します。GPS測位ができない場合は作動しません。
- ・ 車両速度が時速60km/h以下の場合は作動しません。
- ・ 画像処理により車線を検知しているため、紛らわしいシルエットを誤認識する場合があります。
- ・ 車線の種類や幅、周囲の状況、気象条件などにより、正常に作動しない場合があります。
- ・ 積雪などにより車線を検知できない場合は作動しません。
- ・ ワイパー作動中は、車線を認識できない場合があります。

前方衝突警報

走行中に前方車両へ接近し過ぎた場合にお知らせします。



警告音「ブザー音」

※ ブザー音「OFF」の場合、警告音は鳴りません。



- ・ 本機能は、GPS測位が完了している状態で作動します。GPS測位ができない場合は作動しません。
- ・ 車両速度が時速60km/h以下の場合は作動しません。
- ・ 画像処理により前方車両を検知しているため、紛らわしいシルエットを誤認識する場合があります。また、車線の種類や幅、周囲の状況気象条件などにより、正常に作動しない場合があります。
- ・ 車線変更時は前方車両を検知しないため、前方車両に接近し過ぎた場合でもお知らせしません。

1. 設定メニューへの入り方

- 本製品の各種設定は、本体のメインメニューから変更することができます。

1. ライブビュー映像画面で右下のメニューアイコンをタッチ。



2. メニュー画面で右中央にある設定アイコンをタッチ。



3. 設定画面に進みます。



2. カメラ設定



(★) は初期値です。

項目	設定/説明
前方カメラ	2160P固定、カメラの解像度が表示されます。
ハイパーブース	ON / OFF(★)
セキュリティLED	D:OFF/P:ON(★) D:ON/P:ON / D:OFF/P:OFF ※D:運転モード / P:駐車モード
走行衝撃 感度	1(最小) / 2 / 3(★) / 4 / 5(最大)
リアカメラ	1080P固定、カメラの解像度が表示されます。
リアカメラ鏡像	ON / OFF(★)画面表示を左右反転
車内カメラ	1080P固定、カメラの解像度が表示されます。
車内カメラ鏡像	ON / OFF(★)画面表示を左右反転

- 録画フレームレートは、25fps(フロント25.4fps/車内25fps/リヤ25fps)と、27.5fps(フロント27.5fps/車内15fps/リヤ25fps)から選択する事ができます。
- 電力周波数50Hzの東日本、60Hzの西日本のいずれにおいても、25fps/27.5fpsモードのいずれも使用に実用上の問題はないと判断しておりますが、東日本における25fpsモード使用時に、信号の低速点滅が気になる場合には、27.5fpsでご使用ください。

2. カメラ設定



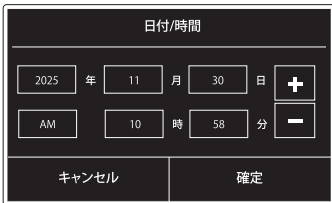
(★) は初期値です。

項目	設定/説明
フレームレート	25fps(★) 前方: 25.4fps / 後方: 25fps / 車内: 25fps 27.5fps 前方: 27.5fps / 後方: 25fps / 車内: 15fps

3. 時間設定



(★) は初期値です。

項目	設定/説明
日付/時間	設定 ※設定ボタンを押すと、日付と時刻を変更できる画面に移動します 
GPS標準時間帯	設定 タイムゾーンを設定。初期設定は GMT+09:00 です。 

4. サウンド設定



(★) は初期値です。

項目	設定/説明
音量	本体スピーカーの音量を調整します。 低 / 中(★) / 高
オーディオ録音	ON(★) / OFF
音声案内	ON(★) / OFF
ブザー音	イベント音 (ADAS、衝撃など) ON(★) / OFF

5. 運転支援機能(ADAS)設定



(★) は初期値です。

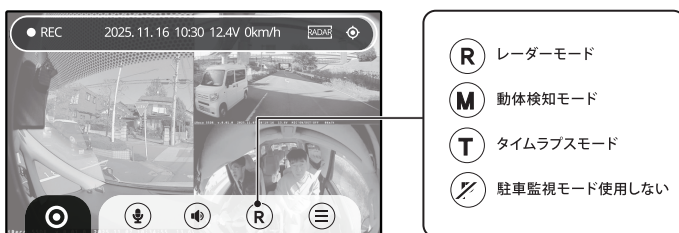
項目	設定/説明
ADAS	ON(★) / OFF ※ADAS機能の使用設定を選択します。 「OFF」を選択すると、全ての機能がOFFになります。
前方衝突警報	ON(★) / OFF
車線逸脱警報	ON(★) / OFF
先行車発進警報	ON(★) / OFF
車線逸脱警報 検知速度	60km/h(★) / 80km/h / 100km/h ※車線逸脱を警告する速度を設定します。
前方衝突警報 検知速度	60km/h(★) / 80km/h / 100km/h ※前方衝突を警告する速度を設定します。
警報音量	低 / 中(★) / 高 ※ADAS機能の警告音量を設定します。

6. 駐車監視設定

駐車監視のモード設定には、「省電力クイック衝撃検知」「動体検知＋衝撃検知」「タイムラプス＋衝撃検知」「レーダー＋衝撃検知」の4つのモードがあります。

各モードの有効／無効の設定内容をご確認ください。

各モードは、メニューアイコンからも切り替えることができます。



省電力クイック衝撃検知モード

別売のレーダーセンサーを接続していない時だけ、動作が可能なモードです。メニュー上では「レーダー＋衝撃検知」が当てられています。レーダー検知は行いません。

有効	レーダー＋衝撃検知	タイマー
無効	タイムラプス＋衝撃検知	動体検知＋衝撃検知
	駐車衝撃 感度	動体検知 感度



- 衝撃検知の感度は、最大値が自動的に内部適用されます。

6. 駐車監視設定

動体検知 + 衝撃検知モード

有効	動体検知 + 衝撃検知	タイマー	駐車衝撃 感度
	動体検知 感度		
無効	タイムラプス + 衝撃検知	レーダー + 衝撃検知	



- 動体検知、衝撃検知の感度は、それぞれ1/2/3/4/5の5段階で個別に設定できます。

※1=最小、5=最大

6. 駐車監視設定

タイムラプス+衝撃検知モード

有効	タイムラプス + 衝撃検知	タイマー	駐車衝撃 感度
無効	動体検知 + 衝撃検知	レーダー + 衝撃検知	
	動体検知 感度		



- 衝撃検知の感度は、1/2/3/4/5の5段階で設定できます。
※1=最小、5=最大

6. 駐車監視設定

レーダー + 衝撃検知モード

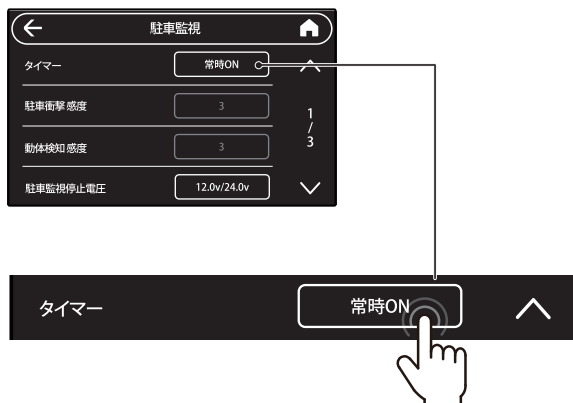
有効	レーダー + 衝撃検知	タイマー
無効	タイムラプス + 衝撃検知	動体検知 + 衝撃検知
	駐車衝撃 感度	動体検知 感度



- 衝撃検知の感度は、最大値が自動的に内部適用されます。

6. 駐車監視設定

● その他の共通設定



・タイマー設定

駐車監視中のバッテリー保護のために以下の範囲で必要に応じ駐車監視のタイマーを設定します。

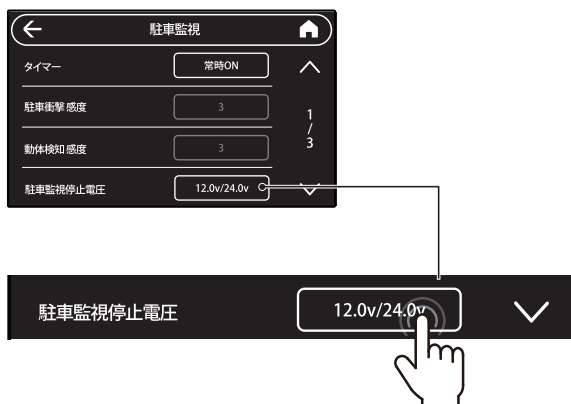
常時ON / 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 5時間 / 6時間 / 12時間 / 24時間

駐車監視の開始時からタイマーの設定時間が経過すると、本機は駐車監視を終了し、電源がオフになります。

6. 駐車監視設定

● 駐車監視終了(カットオフ)電圧

駐車監視中のバッテリー保護のために以下の範囲で必要に応じて駐車監視終了(カットオフ)電圧を設定します。



*12V車向け: 11.8V/11.9V/12.0V/12.1V/12.2V/12.3V/12.4V/
常時 (バッテリーは保護されません。外部バッテリーを
使用する時のみ常時に設定して下さい)

*24V車向け: 23.6V/23.8V/24.0V/24.2V/24.4V/24.6V/24.8V/ない
常時 (バッテリーは保護されません。外部バッテリーを
使用する時のみ常時に設定して下さい)

- ・ 外部バッテリーを使用しない場合には、必ず停止電圧を設定して下さい。
- ・ 駐車監視中に車両から供給される電圧が設定値以下になると本機は駐車監視を終了し、電源がオフになります。

6. 駐車監視設定



(★) は初期値です。

項目	設定/説明
駐車録画	ON(★) / OFF ※駐車監視機能の使用設定を選択します。 「OFF」を選択すると、全ての機能がオフになります。
タイムラプス + 衝撃検知	ON(★) / OFF
動体検知 + 衝撃検知	ON(★) / OFF
タイムラプス+ 衝撃検知	ON(★) / OFF
タイマー	常時ON(★) 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 5時間 / 6時間 / 12時間 / 24時間 ※駐車モードの録画時間を設定できます。 「常時ON」はタイマーを設定せず、電圧降下による保護が働くまで駐車監視を継続します。
駐車衝撃 感度	1 / 2 / 3(★) / 4 / 5
動体検知 感度	1 / 2 / 3(★) / 4 / 5
駐車監視停止電圧	「11.8v/23.6v」/「11.9v/23.8v」 「12.0v/24.0v(★)」/「12.1v/24.2v」 「12.2v/24.4v」/「12.3v/24.6v」 「12.4v/24.8v」 ※車両バッテリー保護のため、設定された電圧以下に電圧が低下した場合、電源がオフになります。

6. 駐車監視設定



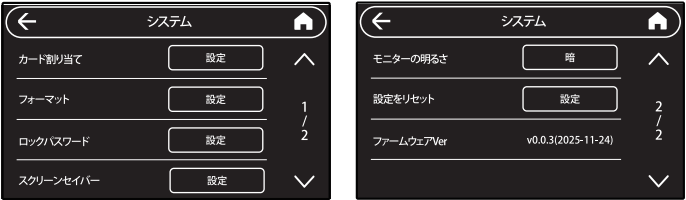
・アナウンスキャンセルタイマー

降車・乗車キャンセルタイマーをOFF/30秒/1分から選択します。
キースイッチOFF後・キースイッチON後の一定時間は、衝撃検知録画の
アナウンスは、降車・乗車時の振動としてキャンセルされます。

(★) は初期値です。

項目	設定/説明
降車キャンセルタイマー	OFF(★) / 30秒 / 1分 ※降車時に発生する衝撃検知録画のアナウンスをしない時間を設定します。
乗車キャンセルタイマー	OFF(★) / 30秒 / 1分 ※乗車時に発生する衝撃録画のアナウンスをしない時間を設定します。

7. システム設定



(★) は初期値です。

項目	設定/説明									
カード割り当て	イベント(50%) 運転(50%) (★) イベント(10%～90%) / 運転(90%～10%) ※カードのパーテーション設定を変更すると、 カードがフォーマット(初期化)されます。 カード割り当て ■ イベント(EVT/IMP/MOT) ■ 運転(REC/PL/TML) < > 50% / 50% キャンセル 確定 イベント(EVT/IMP/MOT)割当内での割合 <table><tr><td>イベント</td><td>EVT - 走行衝撃ファイル</td><td>20%</td></tr><tr><td></td><td>IMP - 駐車衝撃ファイル</td><td>10%</td></tr><tr><td></td><td>MOT - 駐車動体・レーダーファイル</td><td>70%</td></tr></table>	イベント	EVT - 走行衝撃ファイル	20%		IMP - 駐車衝撃ファイル	10%		MOT - 駐車動体・レーダーファイル	70%
イベント	EVT - 走行衝撃ファイル	20%								
	IMP - 駐車衝撃ファイル	10%								
	MOT - 駐車動体・レーダーファイル	70%								

7. システム設定

カード割り当てとパーティション設定について

- 本機では動画ファイルはmicroSDカードの以下のパーティション領域内のフォルダにそれぞれ保存されます。

イベント(EVT/IMP/MOT)パーティション領域 (初期設定50%)

- Driving_EVTフォルダ : 走行中の衝撃検知録画ファイル
- Parking_EVTフォルダ : 駐車監視中の衝撃検知録画ファイル
- Parking_MOTフォルダ : 駐車監視中の動体検知録画ファイル
レーダーによる動体検知録画ファイル

イベント(EVT/IMP/MOT)パーティション領域 (初期設定50%)

- Driving_RECフォルダ : 走行中の衝撃検知録画ファイル走行中のハイパーラプス録画ファイル駐車監視中のタイムラプス録画ファイル
- イベント(EVT/IMP/MOT)パーティション領域内では、フォルダごとに以下の割合で容量が割り当てられています。
 - Driving_EVTフォルダ : 約20%
 - Parking_EVTフォルダ : 約10%
 - Parking_MOTフォルダ : 約70%
- Manual_MANフォルダ: 手動録画ファイルについては、パーティション領域の割り当て設定に関わらず、カード全体の5%の領域が固定値として割り当てられます。

7. システム設定

- カード割り当てと容量ごとの録画ファイル数、録画時間の目安

※ 走行録画・ハイパーラプス・タイムラプスは、全て単一の録画方式で録画を行った場合のおおよその録画時間です。

	カード割り当て								
イベント	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%
常時	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%	20%	10%

イベント 10%	カード割り当て		固定領域		■ イベント (EVT/IMP/MOT) 10% の場合		
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT	Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃	駐車動体・RD
	録画時間	32GB	5分		2分	1分	8分
		64GB	10分		5分	2分	17分
		128GB	20分		10分	5分	35分
		256GB	40分		20分	10分	1時間11分
		512GB	1時間21分		40分	20分	2時間22分
常時 90%	カード割り当て		■ 常時 (REC/HPL/TML) 90% の場合				
	保存先フォルダ		Driving_REC				
	録画の種類		走行録画	ハイパーラプス	タイムラプス		
	録画時間	32GB	1時間54分	13時間39分	13時間39分		
		64GB	3時間48分	27時間18分	27時間18分		
		128GB	7時間37分	54時間36分	54時間36分		
		256GB	15時間14分	109時間13分	109時間13分		
		512GB	30時間28分	218時間27分	218時間27分		

イベント 20%	カード割り当て		固定領域		■イベント (EVT/IMP/MOT) 10%の場合	
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃 駐車動体・RD
	録画時間	32GB	5分		5分	2分 17分
		64GB	10分		10分	5分 35分
		128GB	20分		20分	10分 1時間11分
		256GB	40分		40分	20分 2時間22分
		512GB	1時間21分		1時間21分	40分 4時間44分
常時 80%	カード割り当て		■常時 (REC/HPL/TML) 90%の場合			
	保存先フォルダ		Driving_REC			
	録画の種類		走行録画		ハイパーラプス	タイムラプス
	録画時間	32GB	1時間41分		12時間8分	12時間8分
		64GB	3時間23分		24時間16分	24時間16分
		128GB	6時間46分		48時間32分	48時間32分
		256GB	13時間32分		97時間5分	97時間5分
		512GB	27時間5分		194時間10分	194時間10分

イベント 30%	カード割り当て		固定領域		■イベント (EVT/IMP/MOT) 10%の場合	
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃 駐車動体・RD
	録画時間	32GB	5分		7分	3分 26分
		64GB	10分		15分	7分 53分
		128GB	20分		30分	15分 1時間46分
		256GB	40分		1時間	30分 3時間33分
		512GB	1時間21分		2時間1分	1時間 7時間6分
常時 70%	カード割り当て		■常時 (REC/HPL/TML) 90%の場合			
	保存先フォルダ		Driving_REC			
	録画の種類		走行録画		ハイパーラプス	タイムラプス
	録画時間	32GB	1時間28分		10時間37分	10時間37分
		64GB	2時間57分		21時間14分	21時間14分
		128GB	5時間55分		42時間28分	42時間28分
		256GB	11時間51分		84時間57分	84時間57分
		512GB	23時間42分		169時間54分	169時間54分

イベント 40%	カード割り当て		固定領域		■イベント (EVT/IMP/MOT) 10%の場合	
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃 駐車動体・RD
	録画時間	32GB	5分		10分	5分 35分
		64GB	10分		20分	10分 1時間11分
		128GB	20分		40分	20分 2時間22分
		256GB	40分		1時間21分	40分 4時間44分
		512GB	1時間21分		2時間42分	1時間21分 9時間28分
常時 60%	カード割り当て		■常時 (REC/HPL/TML) 90%の場合			
	保存先フォルダ		Driving_REC			
	録画の種類		走行録画		ハイパーラプス	タイムラプス
	録画時間	32GB	1時間16分		9時間6分	9時間6分
		64GB	2時間32分		18時間12分	18時間12分
		128GB	5時間4分		36時間24分	36時間24分
		256GB	10時間9分		72時間49分	72時間49分
		512GB	20時間19分		145時間38分	145時間38分

イベント 50%	カード割り当て		固定領域		■イベント (EVT/IMP/MOT) 10%の場合	
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃 駐車動体・RD
	録画時間	32GB	5分		12分	6分 44分
		64GB	10分		25分	12分 1時間28分
		128GB	20分		50分	25分 2時間57分
		256GB	40分		1時間41分	50分 5時間55分
		512GB	1時間21分		3時間23分	1時間41分 11時間51分
常時 50%	カード割り当て		■常時 (REC/HPL/TML) 90%の場合			
	保存先フォルダ		Driving_REC			
	録画の種類		走行録画		ハイパーラプス	タイムラプス
	録画時間	32GB	1時間3分		7時間35分	7時間35分
		64GB	2時間7分		15時間10分	15時間10分
		128GB	4時間14分		30時間20分	30時間20分
		256GB	8時間28分		60時間40分	60時間40分
		512GB	16時間56分		121時間21分	121時間21分

イベント 60%	カード割り当て		固定領域		■イベント (EVT/IMP/MOT) 10%の場合	
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃 駐車動体・RD
	録画時間	32GB	5分	15分	7分	53分
		64GB	10分	30分	15分	1時間46分
		128GB	20分	1時間	30分	3時間33分
		256GB	40分	2時間1分	1時間	7時間6分
		512GB	1時間21分	4時間3分	2時間1分	14時間13分
常時 40%	カード割り当て		■常時 (REC/HPL/TML) 90%の場合			
	保存先フォルダ		Driving_REC			
	録画の種類		走行録画		ハイパーラプス	タイムラプス
	録画時間	32GB	50分	6時間4分	6時間4分	
		64GB	1時間41分	12時間8分	12時間8分	
		128GB	3時間23分	24時間16分	24時間16分	
		256GB	6時間46分	48時間32分	48時間32分	
		512GB	13時間32分	97時間5分	97時間5分	

イベント 70%	カード割り当て		固定領域		■イベント (EVT/IMP/MOT) 10%の場合	
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃 駐車動体・RD
	録画時間	32GB	5分	17分	8分	1時間2分
		64GB	10分	35分	17分	2時間4分
		128GB	20分	1時間11分	35分	4時間8分
		256GB	40分	2時間22分	1時間11分	8時間17分
		512GB	1時間21分	4時間44分	2時間22分	16時間35分
常時 30%	カード割り当て		■常時 (REC/HPL/TML) 90%の場合			
	保存先フォルダ		Driving_REC			
	録画の種類		走行録画		ハイパーラプス	タイムラプス
	録画時間	32GB	38分	4時間33分	4時間33分	
		64GB	1時間6分	9時間6分	9時間6分	
		128GB	2時間32分	18時間12分	18時間12分	
		256GB	5時間4分	36時間24分	36時間24分	
		512GB	10時間9分	72時間49分	72時間49分	

イベント 80%	カード割り当て		固定領域		■イベント (EVT/IMP/MOT) 10%の場合	
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃 駐車動体・RD
	録画時間	32GB	5分	20分	10分	1時間11分
		64GB	10分	40分	20分	2時間22分
		128GB	20分	1時間21分	40分	4時間44分
		256GB	40分	2時間42分	1時間21分	9時間28分
		512GB	1時間21分	5時間25分	2時間42分	18時間57分
常時 20%	カード割り当て		■常時 (REC/HPL/TML) 90%の場合			
	保存先フォルダ		Driving_REC			
	録画の種類		走行録画		ハイパーラプス	タイムラプス
	録画時間	32GB	25分	3時間2分	3時間2分	
		64GB	50分	6時間4分	6時間4分	
		128GB	1時間41分	12時間8分	12時間8分	
		256GB	3時間23分	24時間16分	24時間16分	
		512GB	6時間46分	48時間32分	48時間32分	

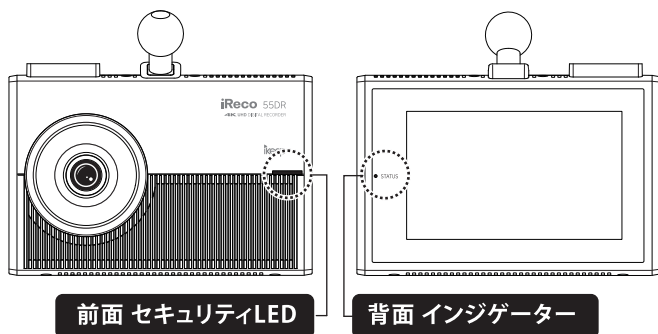
イベント 90%	カード割り当て		固定領域		■イベント (EVT/IMP/MOT) 10%の場合	
	保存先フォルダ		Manual_MAN		Driving_EVT	Parking_EVT Parking_MOT
	録画の種類		手動録画		走行衝撃	駐車衝撃 駐車動体・RD
	録画時間	32GB	22分	22分	11分	1時間20分
		64GB	45分	45分	22分	2時間40分
		128GB	1時間31分	1時間31分	45分	5時間20分
		256GB	3時間2分	3時間2分	1時間31分	10時間40分
		512GB	6時間5分	6時間5分	3時間2分	21時間20分
常時 10%	カード割り当て		■常時 (REC/HPL/TML) 90%の場合			
	保存先フォルダ		Driving_REC			
	録画の種類		走行録画		ハイパーラプス	タイムラプス
	録画時間	32GB	12分	1時間31分	1時間31分	
		64GB	25分	3時間2分	3時間2分	
		128GB	50分	6時間4分	6時間4分	
		256GB	1時間41分	12時間8分	12時間8分	
		512GB	3時間23分	24時間16分	24時間16分	

7. システム設定

(★) は初期値です。

項目	設定/説明
フォーマット	SDカードフォーマット ※microSDカードをフォーマットすると、保存されている映像は削除されます。
ロックパスワード	パスワードを入力することで、画面をロックすることができます。 
スクリーンセイバー	30秒後にOFF / 1分後にOFF (★) / [ライブビュー] / [時計] / [ADAS] / [速度]
モニターの明るさ	暗 / 中 / 明(★)
ファームウェアVer	ファームウェアバージョンを表示します。

セキュリティLED・状態表示インジゲーター



● LED 点灯 ○ LED 消灯 ◐ LED 点滅

分類	前面 LED	背面 LED
起動時	●	●
レーダーモード待機中 / クイック衝撃検知待機中	○	○
レーダーモード録画中 / クイック衝撃検知録画中	◐	◐
タイムラプスモード中	●	○
走行時の常時録画	●	●
イベント録画中 / 手動録画中 / 動体検知モード中	◐	◐
録画停止	○	○
SDカード未挿入	◐	○
SDカードのフォーマット	●	●
ファームウェア更新	◐	◐

- 前面のセキュリティLEDは、メニュー設定から、走行時・駐車監視時を個別に消灯させることができます。

メッセージ確認表

メッセージ	内容
SDカードを挿入してください。	microSDカードが挿入されていない場合に表示されるメッセージです。本機の電源をオフにし、microSDカードを挿入した後、再度電源をオンにしてください。
駐車中に衝撃イベントが検知されました。映像を確認しますか？	駐車監視モード中に衝撃を検出し、エンジンをオンにして駐車監視を終了させた場合に表示されるメッセージです。(キャンセルタイマー時間中に録画した衝撃イベントは除きます。)
ハイパーラプス録画中は音声は録音されません。	設定でハイパーラプスが選択された際に表示されるメッセージです。
この設定を変更すると、全ての録画された データが失われます。続けますか？	設定メニューで「システム」>「カード割り当て」を変更した場合に表示されるメッセージです。
GMTの設定変更時、SDカードがフォーマットされます。続行しますか	タイムゾーンを変更するとSDカードがフォーマットされます。

メッセージ確認表

メッセージ	内容
SDカードのフォーマット時、保存映像は削除されます。 SDカードをフォーマットします。フォーマットが完了したら再起動されます。 SDカードのフォーマットが完了されました。システムを再起動します。	設定メニューの「システム」>「フォーマット」の設定を選択した場合に表示されます。
全ての設定値がリセットされます。続けますか？	設定メニューで「システム」>「設定をリセット」を選択すると、すべての設定が出荷時の状態に戻ります。
設定がリセットされました。システムを再起動します。	設定を反映させるために自動で再起動を行います。
「常時ON」を選択時、LCD寿命が短縮されることがあります。	設定メニューで「システム」>「ライブビュー」/「時計」/「ADAS」/「速度」を選択すると、表示される警告メッセージ

メッセージ確認表

メッセージ	内容
パスワードを入力してください。 設定したパスワードを再入力してください。 パスワードの設定が完了しました。 パスワードが一致しません。設定した パスワードを再入力してください。 パスワードが一致しません。5回以上間 違えると、3分間メニューは使用できま せん。 パスワードの入力を5回間違えました。 3分間メニューは使用できません。	設定メニューで「システム」>「ロックパ スワード」を選択すると、表示される警 告メッセージ

音声案内確認表

分類	音声案内
アップデート	• プログラムファイルが損傷しているため、インストールできません。 • プログラムのインストール中です。電源を切らないでください。 • アップデートを完了し、再起動します。
システム	• 車両バッテリー保護のため、システムを終了します。 • バッテリー保護のため、システムを再起動します。 • システムを終了します。 • システムを再起動します • GPSが接続されました。 • 駐車モードで録画します。 • 駐車中に衝撃イベントが発生しました。 • 走行モードに切り替えるため、再起動します。 • 走行モードで録画を開始します。安全運転をお願いします。 • リアカメラの接続が解除されました。 • 録画を開始します。 • 録画を中止します。 • 手動録画を開始します。 • SDカードが損傷しているため、再起動します。再起動を繰り返す場合は、SDカードを交換してください

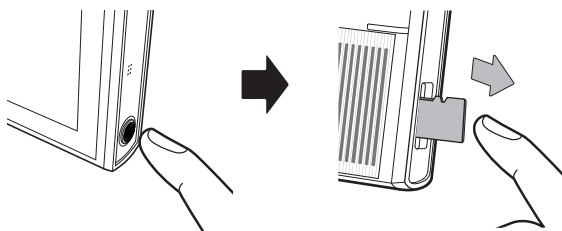
音声案内確認表

分類	音声案内
システム	• SDカードをフォーマットしています。しばらくお待ちください。 • SDカードがありません。
セットアップ	• 音声録音を中止します。 • 音声録音を開始します。 • 駐車モードを中止します。 • 駐車モードを開始します。 • 音声案内を終了します。 • 音声案内を開始します。

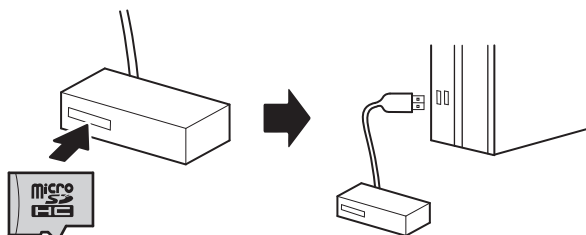
ファームウェアを更新する

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

1. 本体右側の電源ボタンを長押しすると、電源が落ちます。電源が完全に落ちてからmicroSDカードを取り外してください。

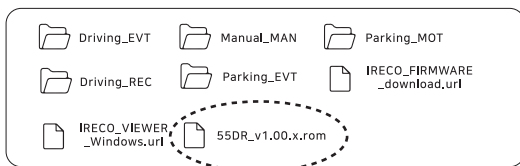


2. 取り出したmicroSDカードをカードリーダーに挿入し、パソコンに接続します。

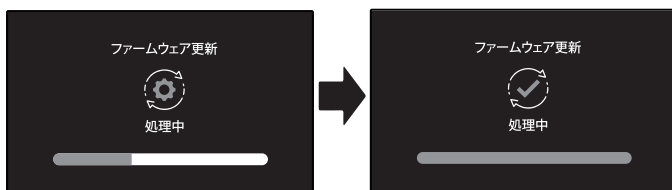


ファームウェアを更新する

3. ダウンロードしたファームウェアファイルの圧縮を解除した後、microSDカードにコピーします。(55DR_v1.00.X.rom)



4. 本体にmicroSDカードを挿入し、電源を入れると自動でファームウェアのアップデートが開始されます。
※アップデート中は絶対に本機の電源を切らないでください。



5. ファームウェアのアップデートが完了すると、本機が再起動します。
「設定」>「システム」>「ファームウェアVer」よりバージョンをご確認ください。



1. 保証の内容

本製品は、取扱説明書に記載された使用方法および注意事項に従い正常に使用されたにもかかわらず不具合が発生した場合に限り、本保証書に記載の保証期間および条件に基づき、無償にて修理（以下「保証修理」といいます）を行います。

保証修理は、当社判断により、対象部品の交換または製品本体の交換にて対応いたします。

なお、保証対象製品の生産終了その他の理由により、同一製品による修理または交換ができない場合には、当社指定の同等品または代替製品と交換させていただく場合があります。

本保証による保証修理の対象は、本保証書に記載された対象部品に限られます。

また、本製品はすべての映像を完全に記録することを保証するものではありません。記録の成否や内容については、本保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

2. 保証修理の受付方法

保証修理をお受けになる場合、お買い上げいただいた販売店にこの保証書をご提示の上、保証修理をお申し付けください。

ご提示がない場合、保証修理をお受けいたしかねます。

なお、販売店様でこの保証書にご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）を添付してください。

製品を弊社に送付される場合、この保証書を製品に添えてお送りください。製品が返送される場合、宅配便など送付控が残る方法をお願いします。

なお、送料などの諸費用、引取りに伴う出張費はお客様のご負担になります。また送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に請求してご返送させていただきます。あらかじめご了承ください。

3. 保証しない事項

保証期間内であっても、次のいずれかに該当する場合は、保証修理の対象外とさせていただきます。

1. 取扱説明書に記載されている「警告」「注意」「ご使用上のお願い」およびその他の記載事項を遵守されなかったことによって生じた故障または損傷。
2. 車載用ドライブレコーダー以外の用途（例：住居、船舶、建設機械等）で使用されたことによって生じた故障または損傷。
3. 指定電源（DC12V/24V）以外で使用した場合、または配線・接続の誤りによって生じた故障または損傷。

4. 弊社以外による点検、修理、分解、改造が行われた製品。
5. お買い上げ後の落下、衝撃、水濡れ、結露等によって生じた故障または損傷。
6. 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧、事故等によって生じた故障または損傷。
7. 弊社指定部品以外をご使用になったことによって生じた故障または損傷。
8. 本機の使用目的以外のデータを記録したmicroSDカード、または弊社指定以外のmicroSDカードをご使用になったことにより発生する動作不良。
9. 記録事故（録画されなかった、正常に保存されなかった等）によって生じた記録データの消失または破損。
10. 使用推奨期限を経過したmicroSDカードをご使用になったことによって生じた記録データの消失または破損。
11. カメラレンズの汚れ、フロントガラスに付着した汚れ、太陽光、照明光線等の影響により記録された映像の見づらさ。
12. 本製品以外の機器の故障等に起因して発生した記録データの消失または破損ならびにそれに伴う本製品の故障または損傷。
13. 取扱説明書に記載されている使用環境温度の範囲を超えた環境下で使用されたことによって生じた故障または損傷。
14. 本製品を修理できなかったことによって生じた不便さ、機会損失、逸失利益、その他の損失。
15. 消耗部品（ケーブル類、ガラスヒューズ、ブラケット、フィルム、両面テープ）および、前項までに定める保証対象部品以外の付属品。
16. 本製品の使用、故障、または修理に伴って発生した二次的損害（例：製品の移設に伴う送料、脱着工賃、工賃相当額等）に対する補償

4. 保証の適用地域

保証は日本国内で使用された場合のみに適用いたします。

5. その他

本保証書は、本書に明示した保証期間および条件に基づき、保証修理をお約束するものです。

本保証書は、保証書を発行する者（保証責任者）ならびに、それ以外の事業者に対して、お客様が法律上有する権利を制限するものではありません。

保証期間終了後の修理、点検等につきましては、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

iReco 55DR 保証書

コピー不可

品 番	iRECO 55DR	シリアル No.			
お買い上げ 年 月 日	お買い上げ日 西暦 年 月 日				
保証期間	お買い上げ日から3年				
対象部分	フロントカメラ / 車内カメラ / リアカメラ ※消耗部品および付属品は除く				
お客様	お名前 様		販売店	店名・住所・電話・捺印	
	ご住所 〒 -			印 ※ 本欄に記入または捺印が無い場合、 必ず販売店様発行の領収書など、購入年月日、 店名などを証明するものをお貼りください。	
	電話番号				
お取付車両	メーカー名	車名	年式	型式	グレード
故障内容					

製品のお取扱方法、修理等に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。ただし、お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行なっておりません。

- ・メールアドレス: support@ikeep.co.jp
- ・サポートページ: <https://ikeep.co.jp/faq-i55dr/>

サポートページQR



サポートLINE



営業時間 (10:00~17:00)
※土・日・祝日・年末年始・夏季休暇・GW
弊社指定期間を除く。

販売元 株式会社 ikeep

〒124-0024 東京都葛飾区新小岩 2-5-14 studio L101

HP : ikeep.co.jp



iReco

ikeep